

第 1 章

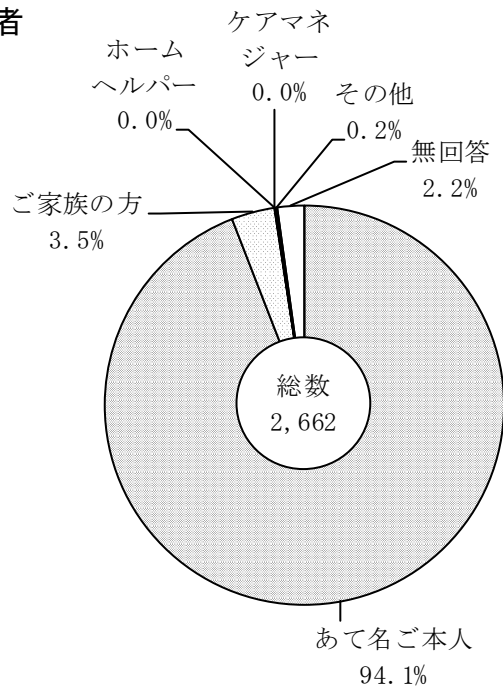
高齢者生活状況アンケート

○調査票の記入者

問1 この調査票には、どなたが記入していますか。(一つに○)

「あて名ご本人」が94.1%で最も多く、次いで「ご家族の方」が3.5%となっています。

問1 調査票の記入者



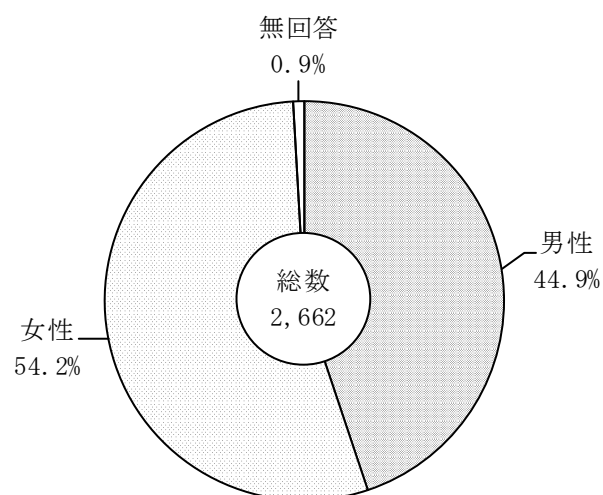
1 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(一つに○)

「女性」が54.2%、「男性」が44.9%となっています。

問2 性別

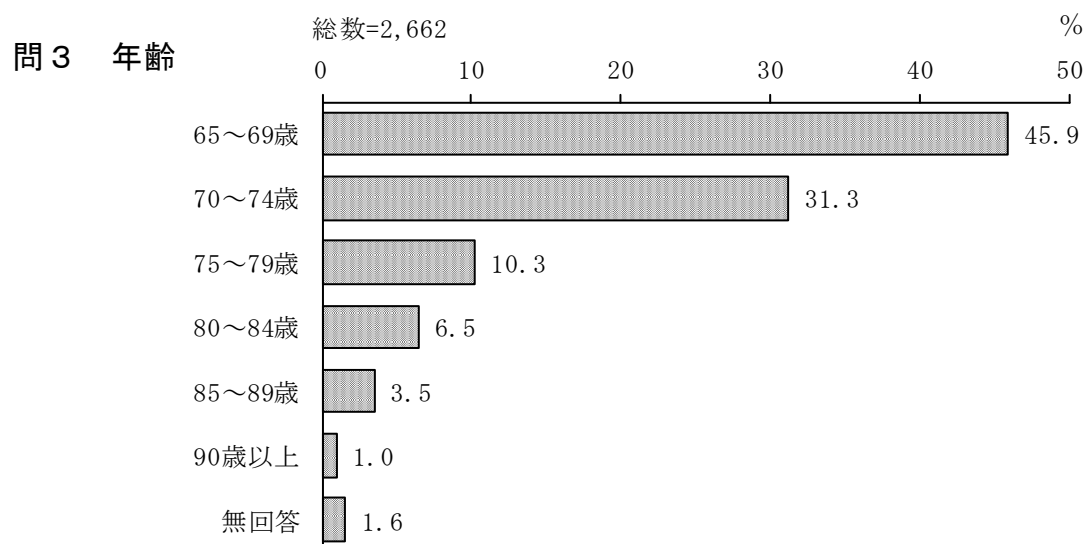


(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。

平成26年1月1日現在の年齢をお書きください。

「65～69歳」が45.9%で最も多く、次いで「70～74歳」が31.3%、「75～79歳」が10.3%、「80～84歳」が6.5%となっています。75歳以上の方は約2割となっています。

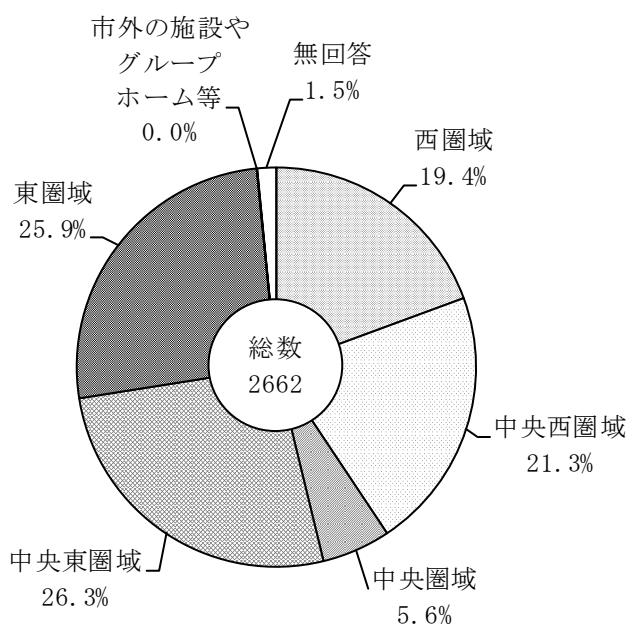


(3) 住まいの地域

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(一つに〇)

「中央東圏域」が26.3%で最も多く、次いで「東圏域」が25.9%、「中央西圏域」が21.3%、「西圏域」が19.4%、中央圏域が5.6%となっています。

問4 住まいの地域



◆ 小平市の日常生活圏域

日常生活圏域	町 丁 名
西圏域	中島町、上水新町、たかの台、小川町1丁目、栄町、上水本町1丁目、津田町1丁目
中央西圏域	小川西町、小川東町1～5丁目、上水本町2～6丁目、津田町2～3丁目、学園西町
中央圏域	小川町2丁目、小川東町、学園東町1丁目
中央東圏域	上水南町、喜平町、学園東町(1丁目を除く)、仲町、美園町、大沼町(5丁目19番を除く)、天神町2丁目25～29番、花小金井8丁目2～10番
東圏域	回田町、御幸町、鈴木町、天神町(2丁目25～29番を除く)、花小金井南町、花小金井(8丁目2～10番を除く)、大沼町5丁目19番

※ 平成26年4月1日から圏域の一部が変更となります。

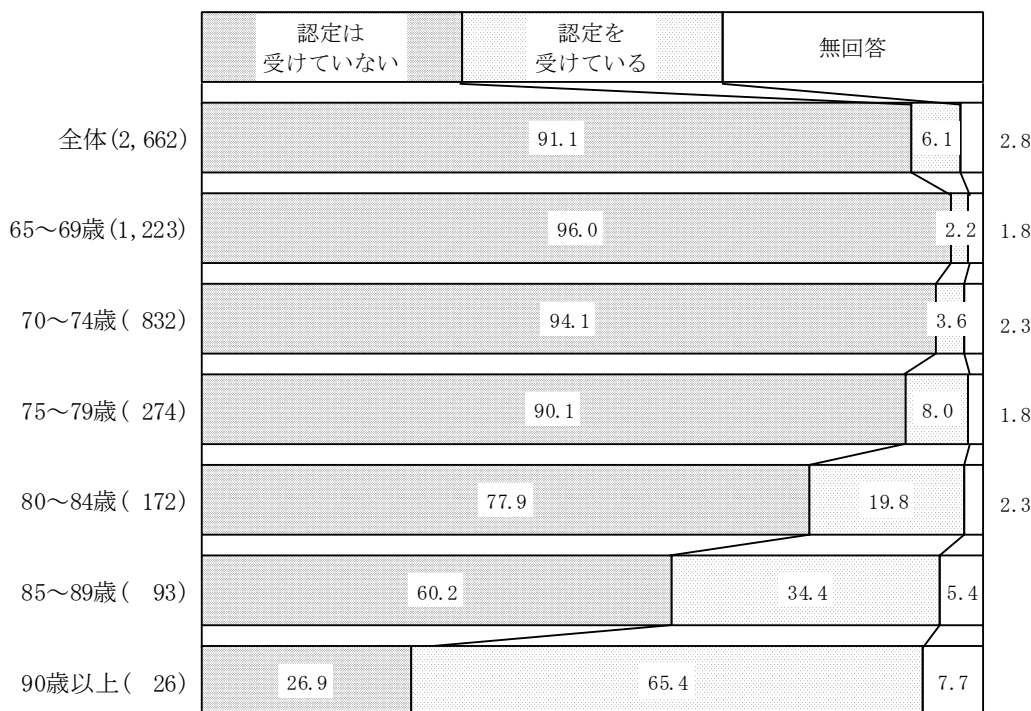
(4) 要介護認定の有無

問5 あなたは現在、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。
 受けている方は要支援・要介護度をお答えください。(一つに〇)

「認定は受けていない」が 91.1%、「認定を受けている」が 6.1%となっています。
 要支援・要介護度別に見ると、「要支援2」が 1.8%、「要支援1」が 1.4%、「要介護1」
 が 0.9%となっています。

問5 要介護認定の有無

単位:%



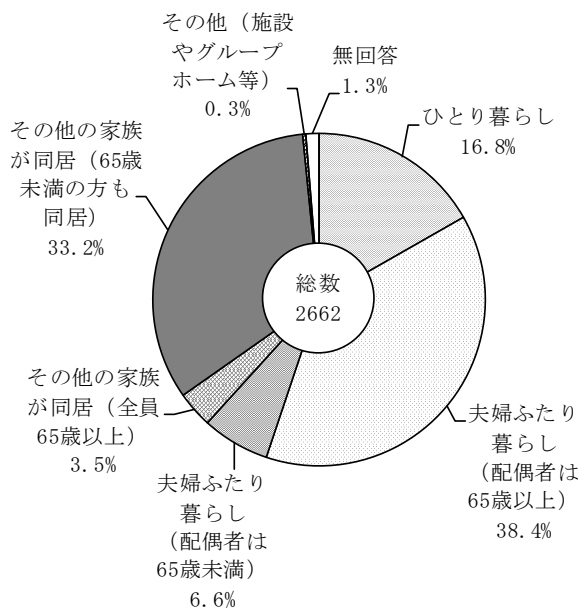
	全体	認定は受けていない	認定を受けている					要介護5	無回答		
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3				
上段: 人数	2,662	2,424	38	48	24	22	14	10	7	75	
下段: 構成比 (%)	100.0	91.1	1.4	1.8	0.9	0.8	0.5	0.4	0.3	2.8	
年齢	65~69歳	1,223	1,174	6	7	3	3	1	4	3	22
		100.0	96.0	0.5	0.6	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	1.8
	70~74歳	832	783	3	10	5	7	1	3	1	19
		100.0	94.1	0.4	1.2	0.6	0.8	0.1	0.4	0.1	2.3
	75~79歳	274	247	7	5	3	2	4	-	1	5
		100.0	90.1	2.6	1.8	1.1	0.7	1.5	-	0.4	1.8
	80~84歳	172	134	11	10	5	4	4	-	-	4
	100.0	77.9	6.4	5.8	2.9	2.3	2.3	-	-	2.3	
85~89歳	93	56	7	11	4	4	4	2	-	5	
	100.0	60.2	7.5	11.8	4.3	4.3	4.3	2.2	-	5.4	
90歳以上	26	7	4	5	4	2	-	1	1	2	
	100.0	26.9	15.4	19.2	15.4	7.7	-	3.8	3.8	7.7	
無回答	42	23	-	-	-	-	-	-	1	18	
	100.0	54.8	-	-	-	-	-	-	2.4	42.9	

(5) 世帯構成

問6 あなたが現在同居している世帯の構成は、次のどれにあたりますか。
(一つに○)

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が38.4%で最も多く、「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が33.2%、「ひとり暮らし」が16.8%となっています。

問6① 世帯構成



問6② 世帯構成 (年齢別)

年齢別に見ると、「ひとり暮らし」は概ね年齢が上がるにつれて多くなる傾向にあります。

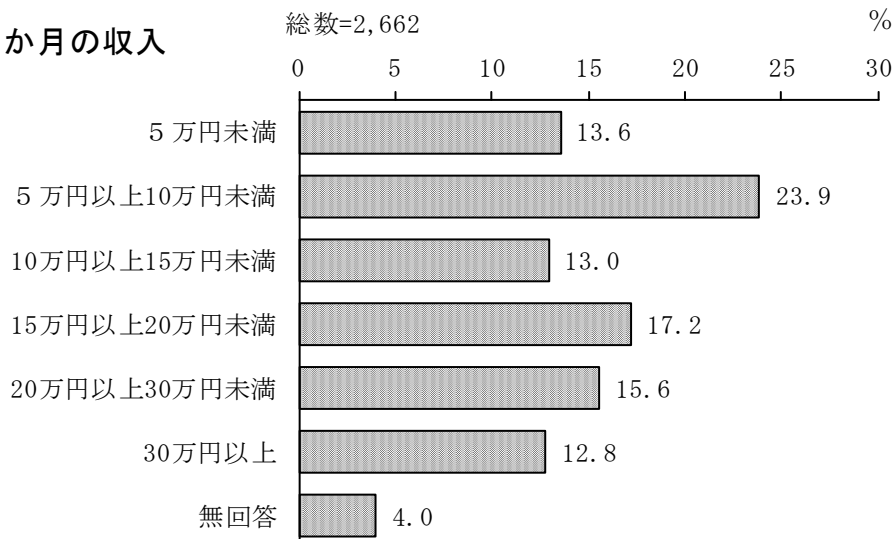
	全体	ひとり暮らし	(配偶者は65歳以上) 夫婦ふたり暮らし	(配偶者は65歳未満) 夫婦ふたり暮らし	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	(65歳未満の方も同居) その他の家族が同居	その他(施設やグループホーム等)	無回答	
									上段: 人数
全体	2,662	446	1,022	175	94	883	8	34	
	100.0	16.8	38.4	6.6	3.5	33.2	0.3	1.3	
年齢	65~69歳	1,223	163	402	146	56	448	6	2
		100.0	13.3	32.9	11.9	4.6	36.6	0.5	0.2
	70~74歳	832	137	378	25	25	261	1	5
		100.0	16.5	45.4	3.0	3.0	31.4	0.1	0.6
	75~79歳	274	59	136	2	2	74	-	1
		100.0	21.5	49.6	0.7	0.7	27.0	-	0.4
	80~84歳	172	47	68	1	2	51	1	2
		100.0	27.3	39.5	0.6	1.2	29.7	0.6	1.2
85~89歳	93	30	26	-	3	31	-	3	
	100.0	32.3	28.0	-	3.2	33.3	-	3.2	
90歳以上	26	7	1	-	6	11	-	1	
	100.0	26.9	3.8	-	23.1	42.3	-	3.8	
無回答	42	3	11	1	-	7	-	20	
	100.0	7.1	26.2	2.4	-	16.7	-	47.6	

(6) 1か月の収入

問7 あなたご本人の1か月の収入はどのくらいですか。(一つに〇)

「5万円以上 10万円未満」が23.9%で最も多く、「15万円以上 20万円未満」が17.2%、「20万円以上 30万円未満」が15.6%、「5万円未満」が13.6%となっています。

問7① 1か月の収入



問7② 1か月の収入 (性別)

性別で見ると、女性より男性のほうが収入が多い傾向にあり、男性では「20万円以上 30万円未満」が、女性では「5万円以上 10万円未満」が最も多くなっています。

		全体	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上	無回答
				人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	
性別	全体	2,662	361	636	345	458	415	341	106
		100.0	13.6	23.9	13.0	17.2	15.6	12.8	4.0
	男性	1,194	59	89	133	261	335	289	28
		100.0	4.9	7.5	11.1	21.9	28.1	24.2	2.3
	女性	1,444	302	546	208	196	80	52	60
		100.0	20.9	37.8	14.4	13.6	5.5	3.6	4.2
	無回答	24	-	1	4	1	-	-	18
		100.0	-	4.2	16.7	4.2	-	-	75.0

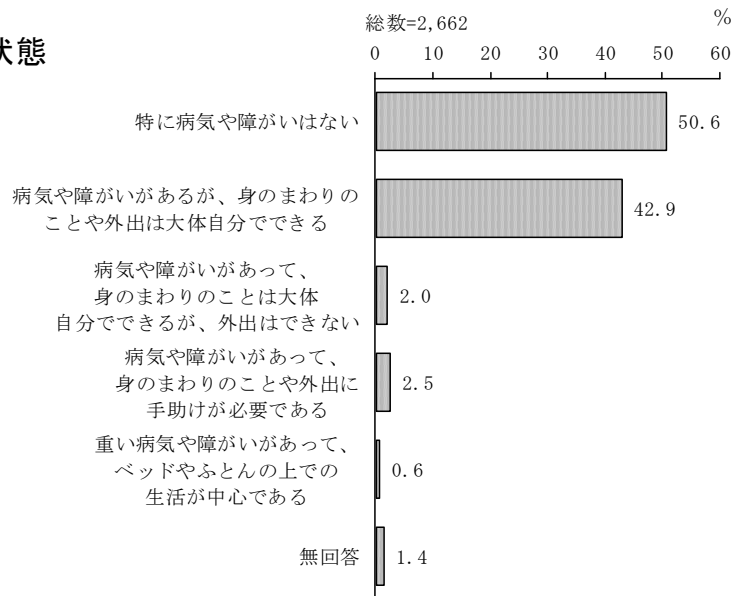
2 医療・健康について

(1) 健康状態

問8 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(近いもの一つに○)

「特に病気や障がいはない」が50.6%で最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことや外出は大体自分でできる」が42.9%となっています。

問8① 健康状態



問8② 健康状態 (年齢別)

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて「特に病気や障がいはない」が減少し、85歳以上では「病気や障がいがあるが、身のまわりのことや外出に手助けが必要である」がやや多くなっています。

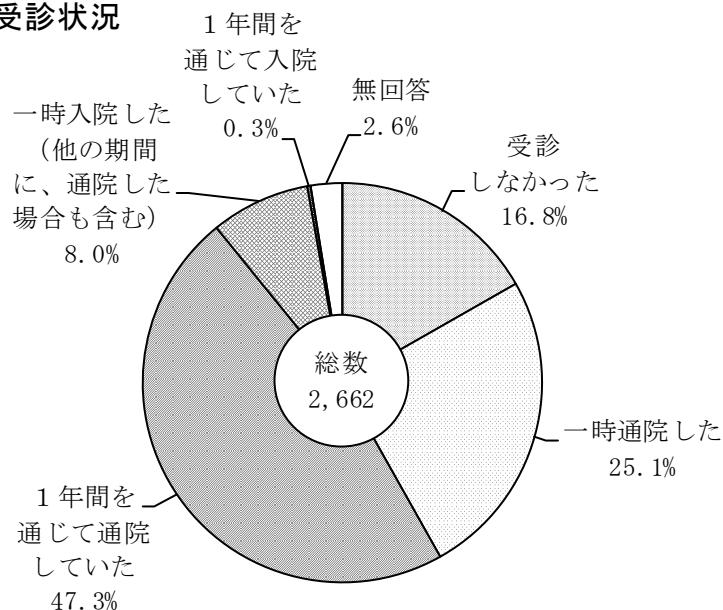
	全体	健康状態						
		特に病気や障がいはない	身のまわりのことや外出は大体自分でできる	身のまわりのことは大体自分でできるが、外出はできない	身のまわりのことや外出に手助けが必要である	重い病気や障がいがあるが、ベッドやふとんの上での生活が中心である	無回答	
上段：人数	2,662	1,348	1,142	53	66	17	36	
下段：構成比 (%)	100.0	50.6	42.9	2.0	2.5	0.6	1.4	
年齢	全体	1,348	1,142	53	66	17	36	
	65～69歳	1,223	747	439	9	16	4	8
	70～74歳	832	414	382	15	13	2	6
	75～79歳	274	108	151	6	5	3	1
	80～84歳	172	51	94	10	13	2	2
	85～89歳	93	16	49	9	15	3	1
	90歳以上	26	2	14	3	4	3	-
	無回答	42	10	13	1	-	-	18

(2) 医療機関の受診状況

問9 あなたは昨年1年間に、病気や障がいのために医療機関を受診しましたか。
(一つに〇)

「1年間を通じて通院していた」が47.3%で最も多く、次いで「一時通院した」が25.1%、「受診しなかった」が16.8%、「一時入院した(他の期間に、通院した場合も含む)」が8.0%、「1年間を通じて入院していた」が0.3%、「無回答」が2.6%となっています。

問9 医療機関の受診状況



(3) かかりつけの診療所・病院等の有無

問10 あなたには、かかりつけの診療所・病院、かかりつけの歯科医院、かかりつけの薬局がありますか。(それぞれ一つに〇)

「ある」という回答は、かかりつけの診療所・病院では87.1%、かかりつけの歯科医院では76.0%、かかりつけの薬局では59.2%となっています。

問10 かかりつけの診療所・病院等の有無

総数=2,662 単位:%

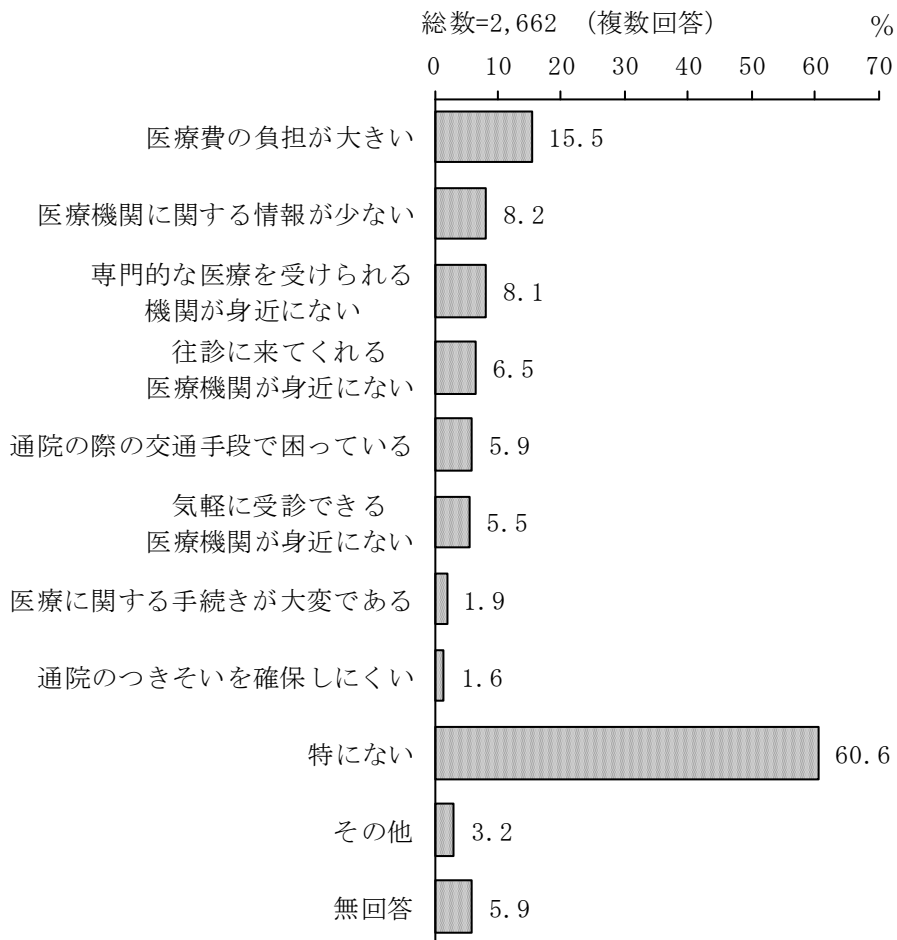
	ある	ない	無回答
かかりつけの診療所・病院	87.1	9.4	3.6
かかりつけの歯科医院	76.0	11.6	12.4
かかりつけの薬局	59.2	23.0	17.9

(4) 通院や医療に関して困っていること

問 11 あなたは、通院や医療に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

「医療費の負担が大きい」が 15.5%で最も多く、次いで「医療機関に関する情報が少ない」が 8.2%、「専門的な医療を受けられる機関が身近にない」が 8.1%、「往診に来てくれる医療機関が身近にない」が 6.5%となっています。

問 11① 通院や医療に関して困っていること



問 11② 通院や医療に関して困っていること（年齢別）

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて「往診に来てくれる医療機関が身近にない」が多くなる傾向にあります。

	全体	通院のつきそいを確保しにくい	通院の際の交通手段で困っている	医療機関に関する情報が少ない	医療機関が身近にない	気軽に受診できる医療機関が身近にない	専門的な医療を受けられない	往診に来てくれる医療機関が身近にない	医療に関する手続きが大変である	医療費の負担が大きい	特にない	その他	無回答
全体	2,662 100.0	42 1.6	157 5.9	218 8.2	147 5.5	216 8.1	173 6.5	51 1.9	412 15.5	1,613 60.6	84 3.2	157 5.9	
年齢	65～69歳	1,223 100.0	12 1.0	46 3.8	112 9.2	68 5.6	88 7.2	51 4.2	20 1.6	241 19.7	752 61.5	30 2.5	62 5.1
	70～74歳	832 100.0	9 1.1	43 5.2	57 6.9	46 5.5	69 8.3	44 5.3	13 1.6	96 11.5	532 63.9	27 3.2	53 6.4
	75～79歳	274 100.0	5 1.8	24 8.8	21 7.7	14 5.1	29 10.6	24 8.8	6 2.2	32 11.7	160 58.4	13 4.7	22 8.0
	80～84歳	172 100.0	7 4.1	21 12.2	13 7.6	10 5.8	13 7.6	23 13.4	6 3.5	26 15.1	87 50.6	4 2.3	12 7.0
	85～89歳	93 100.0	7 7.5	16 17.2	7 7.5	6 6.5	9 9.7	22 23.7	4 4.3	8 8.6	44 47.3	7 7.5	4 4.3
	90歳以上	26 100.0	1 3.8	4 15.4	3 11.5	2 7.7	2 7.7	8 30.8	1 3.8	3 11.5	12 46.2	1 3.8	2 7.7
	無回答	42 100.0	1 2.4	3 7.1	5 11.9	1 2.4	6 14.3	1 2.4	1 2.4	6 14.3	26 61.9	2 4.8	2 4.8

問 11③ 通院や医療に関して困っていること（1か月の収入別）

1か月の収入別に見ると、概ね収入が少ないほうが「医療費の負担が大きい」が多くなる傾向にあります。

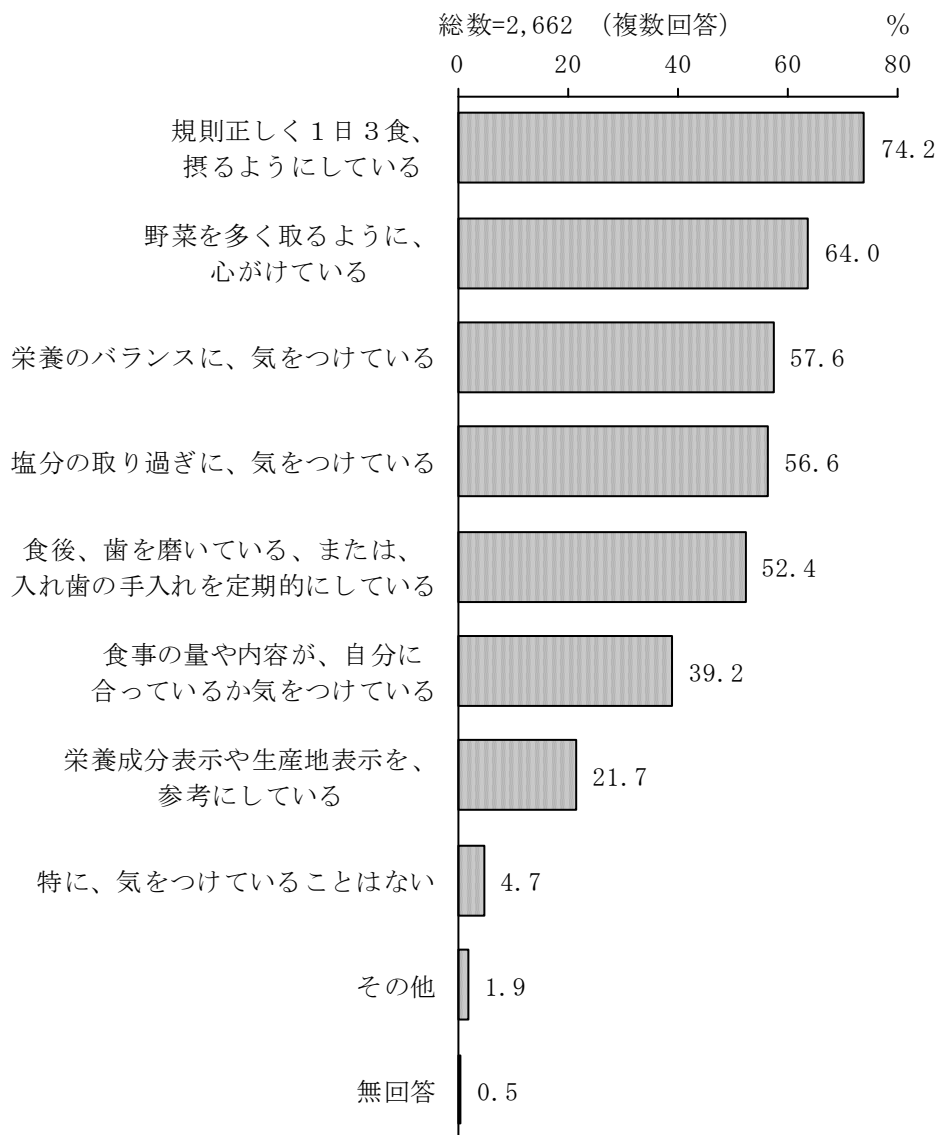
	全体	通院のつきそいを確保しにくい	通院の際の交通手段で困っている	医療機関に関する情報が少ない	医療機関が身近にない	気軽に受診できる医療機関が身近にない	専門的な医療を受けられない	往診に来てくれる医療機関が身近にない	医療に関する手続きが大変である	医療費の負担が大きい	特にない	その他	無回答
全体	2,662 100.0	42 1.6	157 5.9	218 8.2	147 5.5	216 8.1	173 6.5	51 1.9	412 15.5	1,613 60.6	84 3.2	157 5.9	
1か月の収入	5万円未満	361 100.0	16 4.4	29 8.0	35 9.7	19 5.3	30 8.3	27 7.5	14 3.9	73 20.2	193 53.5	14 3.9	26 7.2
	5万円以上10万円未満	636 100.0	9 1.4	48 7.5	59 9.3	33 5.2	46 7.2	43 6.8	5 0.8	110 17.3	365 57.4	22 3.5	36 5.7
	10万円以上15万円未満	345 100.0	6 1.7	24 7.0	38 11.0	28 8.1	29 8.4	21 6.1	9 2.6	61 17.7	191 55.4	11 3.2	19 5.5
	15万円以上20万円未満	458 100.0	5 1.1	17 3.7	35 7.6	22 4.8	38 8.3	36 7.9	7 1.5	63 13.8	283 61.8	13 2.8	34 7.4
	20万円以上30万円未満	415 100.0	3 0.7	16 3.9	25 6.0	18 4.3	36 8.7	28 6.7	6 1.4	52 12.5	290 69.9	11 2.7	11 2.7
	30万円以上	341 100.0	-	13 3.8	17 5.0	19 5.6	25 7.3	12 3.5	3 0.9	38 11.1	242 71.0	8 2.3	11 3.2
	無回答	106 100.0	3 2.8	10 9.4	9 8.5	8 7.5	12 11.3	6 5.7	7 6.6	15 14.2	49 46.2	5 4.7	20 18.9

(5) 食生活について気をつけていること

問 12 あなたは、食生活について気をつけていることがありますか。
(〇はいくつでも)

「規則正しく1日3食、摂るようにしている」が74.2%で最も多く、「野菜を多く取るように、心がけている」が64.0%、「栄養のバランスに、気をつけている」が57.6%、「塩分の取り過ぎに、気をつけている」が56.6%となっています。

問 12 食生活について気をつけていること

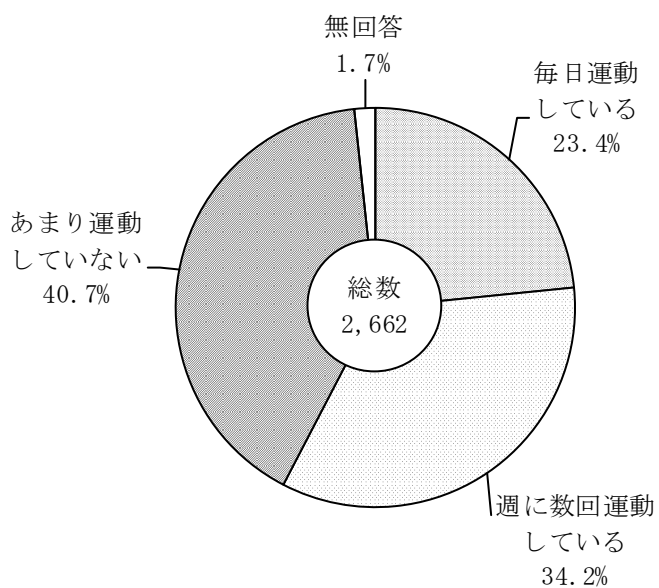


(6) 定期的な運動の有無

問 13 あなたは、定期的に運動をしていますか。(一つに〇)

「あまり運動していない」が 40.7%で最も多く、次いで「週に数回運動している」が 34.2%、「毎日運動している」が 23.4%となっています。

問 13 定期的な運動の有無

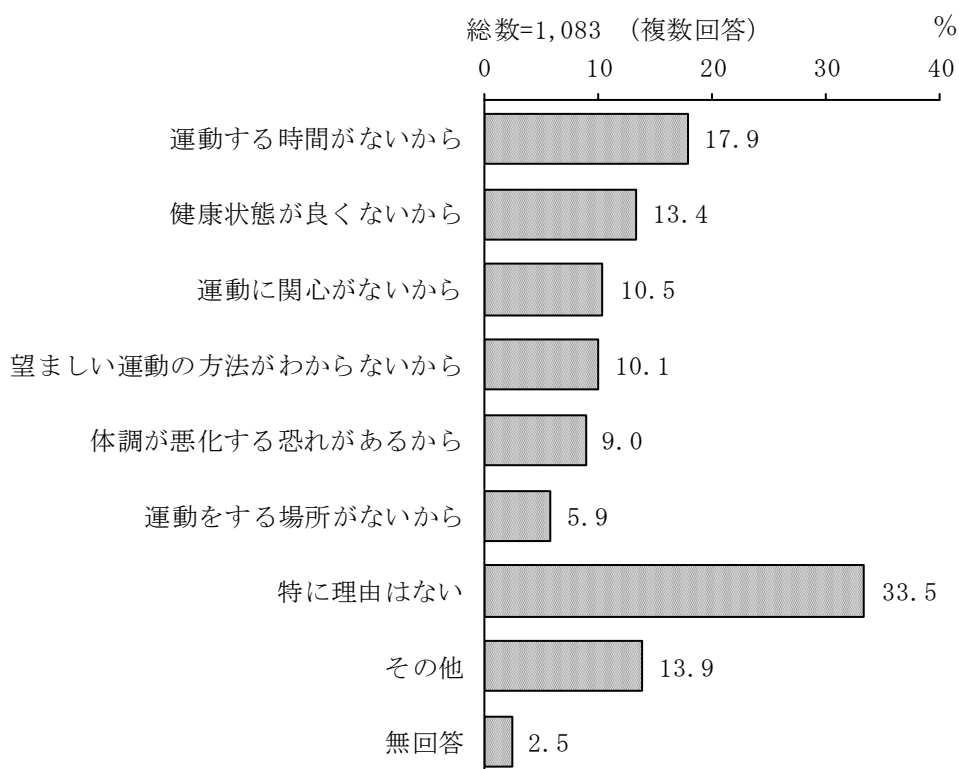


(7) 定期的に運動していない理由

問 14 問 13で「3 あまり運動していない」と回答した方にお聞きします。
あまり運動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「運動する時間がないから」が 17.9%で最も多く、次いで「健康状態が良くないから」が 13.4%、「運動に関心がないから」が 10.5%、「望ましい運動の方法がわからないから」が 10.1%となっています。「その他」では、「腰痛・膝痛などがあるから」、「日常の家事や散歩で十分だから」などの回答がありました。

問 14 定期的に運動していない理由



(8) 介護予防事業への参加意向

問 15 あなたは今後、次に挙げる介護予防事業に参加してみたいと思いますか。
(それぞれ一つに○)

「参加してみたい」、「機会があれば参加してみたい」という回答は、運動機能の向上（膝痛・腰痛予防）では4割あまり、認知症予防では約4割、食生活（栄養等）の改善では3割あまりとなっています。

問 15 介護予防事業への参加意向

総数=2,662

単位:%

	参加してみたい	機会があれば参加してみたい	関心はあるが参加は難しい	参加したくない	無回答
運動機能の向上 (膝痛・腰痛予防)	12.7	31.3	18.3	20.7	17.1
食生活(栄養等) の改善	6.5	26.4	17.3	26.0	23.9
口腔機能(嚙む・ 飲み込む)の向上	4.7	20.2	15.8	31.2	28.1
認知症予防	10.1	30.3	15.7	24.7	19.3
高齢期のうつ予防	5.2	20.7	15.7	32.5	26.0
閉じこもり防止	3.6	17.4	14.7	36.2	28.0

小平市の介護予防事業

介護予防教室

軽い運動をしたり、食生活や歯みがきについて学ぶことで、介護が必要とならないように、生活習慣の改善をはかる教室です。

認知症予防教室

将来認知症にならないように、予防する方法を学んだり体験したりする教室です。

認知症サポーター養成講座

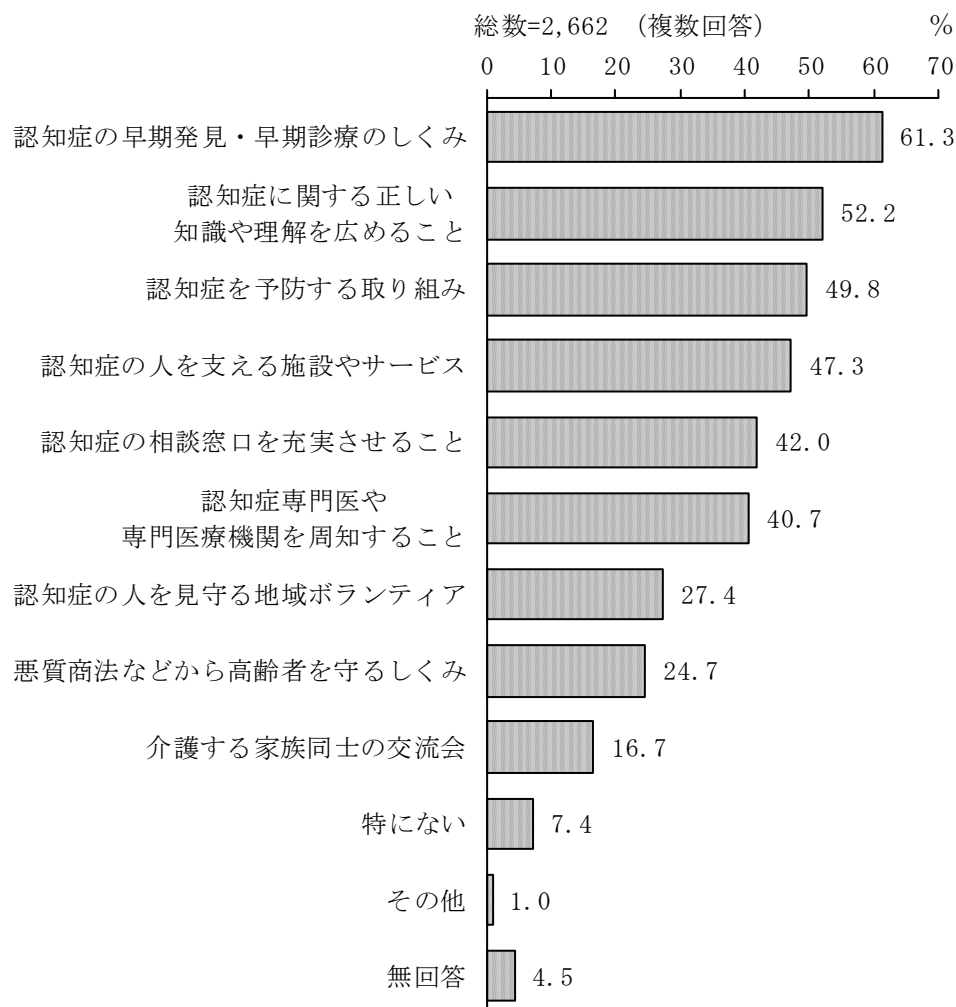
地域で暮らしている認知症の方やその家族を温かく見守っていただくために、認知症についての正しい知識を学ぶ講座です。

(9) 認知症になっても地域で生活するために必要なこと

問 16 認知症になっても住み慣れた地域で生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「認知症の早期発見・早期診療のしくみ」が 61.3%で最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が 52.2%、「認知症を予防する取り組み」が 49.8%、「認知症の人を支える施設やサービス」が 47.3%となっています。

問 16 認知症になっても地域で生活するために必要なこと



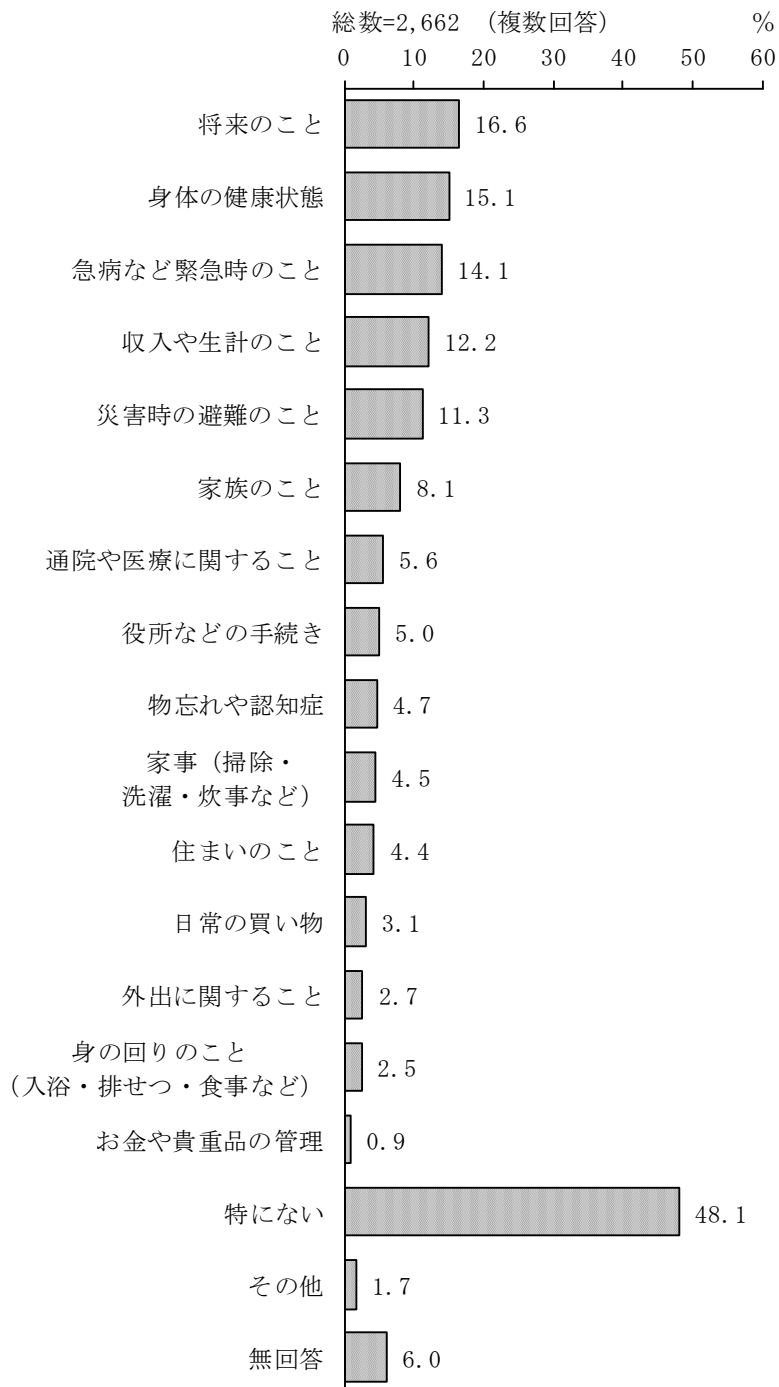
3 日常生活について

(1) 日常生活で困っていること

問 17 あなたは、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「将来のこと」が 16.6%で最も多く、次いで「身体 の健康状態」が 15.1%、「急病など緊急時のこと」が 14.1%、「収入や生計のこと」が 12.2%となっています。

問 17① 日常生活で困っていること



問 17② 日常生活で困っていること（年齢別）

年齢別に見ると、「身体の健康状態」、「急病など緊急時のこと」は概ね年齢が上がるにつれて多くなる傾向にあります。

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	身体 の健康 状態	物忘れ や認知 症	身の回りのこと （入浴・排せつ・ 食事など）	家事 （掃除・洗濯・ 炊事など）	日常の 買い物	住まい のこと	外出に 関する こと	通院や 医療に 関する こと	役所な どの手 続き
全体		2,662 100.0	401 15.1	124 4.7	66 2.5	120 4.5	82 3.1	116 4.4	72 2.7	149 5.6	134 5.0
年齢	65～69歳	1,223 100.0	156 12.8	31 2.5	13 1.1	37 3.0	20 1.6	50 4.1	22 1.8	54 4.4	40 3.3
	70～74歳	832 100.0	116 13.9	29 3.5	15 1.8	26 3.1	14 1.7	40 4.8	15 1.8	40 4.8	35 4.2
	75～79歳	274 100.0	47 17.2	13 4.7	7 2.6	18 6.6	13 4.7	11 4.0	9 3.3	15 5.5	16 5.8
	80～84歳	172 100.0	36 20.9	27 15.7	14 8.1	16 9.3	16 9.3	5 2.9	9 5.2	18 10.5	22 12.8
	85～89歳	93 100.0	27 29.0	13 14.0	12 12.9	17 18.3	13 14.0	5 5.4	13 14.0	16 17.2	17 18.3
	90歳以上	26 100.0	11 42.3	9 34.6	5 19.2	5 19.2	4 15.4	1 3.8	3 11.5	5 19.2	3 11.5
	無回答	42 100.0	8 19.0	2 4.8	- -	1 2.4	2 4.8	4 9.5	1 2.4	1 2.4	1 2.4

上段：人数 下段：構成比（%）		お金や 貴重品 の管理	緊急時 の急病 なこと	災害時 の避難 のこと	収入や 生計の こと	家族の こと	将来の こと	特にな い	その他	無回 答
全体		24 0.9	376 14.1	301 11.3	326 12.2	216 8.1	442 16.6	1,281 48.1	46 1.7	161 6.0
年齢	65～69歳	9 0.7	128 10.5	96 7.8	148 12.1	101 8.3	187 15.3	662 54.1	20 1.6	64 5.2
	70～74歳	4 0.5	126 15.1	100 12.0	123 14.8	69 8.3	148 17.8	393 47.2	13 1.6	51 6.1
	75～79歳	4 1.5	44 16.1	45 16.4	28 10.2	16 5.8	47 17.2	117 42.7	6 2.2	24 8.8
	80～84歳	3 1.7	39 22.7	36 20.9	18 10.5	14 8.1	35 20.3	62 36.0	3 1.7	10 5.8
	85～89歳	3 3.2	28 30.1	19 20.4	6 6.5	14 15.1	15 16.1	21 22.6	2 2.2	10 10.8
	90歳以上	1 3.8	6 23.1	2 7.7	2 7.7	1 3.8	2 7.7	6 23.1	1 3.8	1 3.8
	無回答	- -	5 11.9	3 7.1	1 2.4	1 2.4	8 19.0	20 47.6	1 2.4	1 2.4

問 17③ 日常生活で困っていること（世帯構成別）

世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では「急病など緊急時のこと」、「将来のこと」が多くなっています。

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	身体 の健康 状態	物 忘れ や認 知症	身 の回 りの こと （入 浴・ 排せ つ・ 食 事 な ど）	家 事 （掃 除・ 洗 濯・ 炊 事 な ど）	日 常 の 買 い 物	住 ま い の こ と	外 出 に 関 す る こ と	通 院 や 医 療 に 関 す る こ と	役 所 な ど の 手 続 き
全体		2,662 100.0	401 15.1	124 4.7	66 2.5	120 4.5	82 3.1	116 4.4	72 2.7	149 5.6	134 5.0
世帯 構成	ひとり暮らし	446 100.0	93 20.9	25 5.6	22 4.9	47 10.5	21 4.7	38 8.5	10 2.2	34 7.6	40 9.0
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳以上）	1,022 100.0	147 14.4	50 4.9	21 2.1	35 3.4	27 2.6	27 2.6	27 2.6	47 4.6	36 3.5
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳未満）	175 100.0	19 10.9	7 4.0	1 0.6	4 2.3	2 1.1	9 5.1	2 1.1	8 4.6	9 5.1
	その他の家族が同居 （全員65歳以上）	94 100.0	15 16.0	3 3.2	2 2.1	4 4.3	1 1.1	4 4.3	2 2.1	5 5.3	3 3.2
	その他の家族が同居 （65歳未満の方も同居）	883 100.0	118 13.4	36 4.1	18 2.0	28 3.2	29 3.3	33 3.7	28 3.2	53 6.0	43 4.9
	その他（施設や グループホーム等）	8 100.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
	無回答	34 100.0	5 14.7	2 5.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9	3 8.8	1 2.9	1 2.9	2 5.9

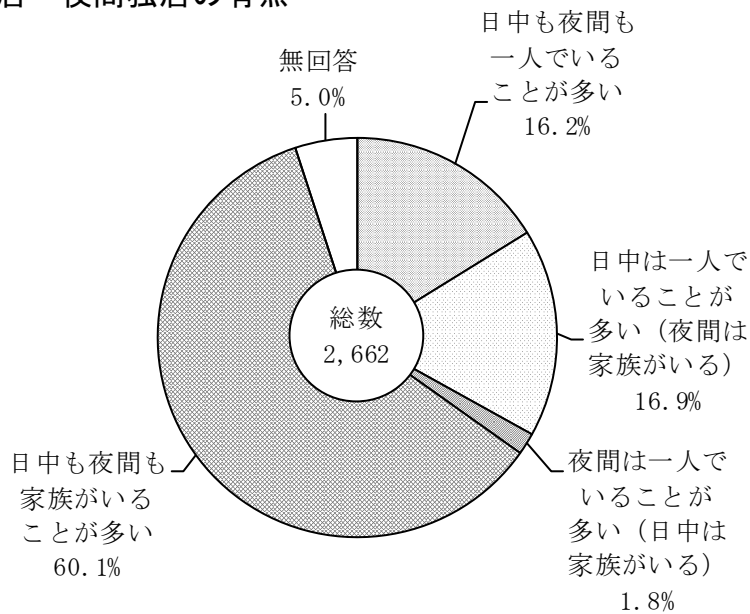
上段：人数 下段：構成比（%）		お 金 や 貴 重 品 の 管 理	緊 急 時 の こ と 急 病 な ど	災 害 時 の 避 難 の こ と	収 入 や 生 計 の こ と	家 族 の こ と	将 来 の こ と	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		24 0.9	376 14.1	301 11.3	326 12.2	216 8.1	442 16.6	1,281 48.1	46 1.7	161 6.0
世帯 構成	ひとり暮らし	8 1.8	141 31.6	73 16.4	70 15.7	12 2.7	104 23.3	146 32.7	12 2.7	21 4.7
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳以上）	8 0.8	128 12.5	116 11.4	102 10.0	84 8.2	138 13.5	537 52.5	15 1.5	68 6.7
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳未満）	- -	12 6.9	18 10.3	28 16.0	13 7.4	30 17.1	88 50.3	3 1.7	12 6.9
	その他の家族が同居 （全員65歳以上）	- -	14 14.9	7 7.4	8 8.5	14 14.9	15 16.0	46 48.9	1 1.1	6 6.4
	その他の家族が同居 （65歳未満の方も同居）	8 0.9	79 8.9	85 9.6	114 12.9	90 10.2	146 16.5	449 50.8	13 1.5	50 5.7
	その他（施設や グループホーム等）	- -	- -	- -	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5
	無回答	- -	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9	8 23.5	14 41.2	2 5.9	3 8.8

(2) 日中独居・夜間独居の有無

問 18 あなたは、日中や夜間、家で一人になることがありますか。(一つに〇)

「日中も夜間も家族がいることが多い」が 60.1%で最も多く、次いで「日中は一人であることが多い(夜間は家族がいる)」が 16.9%、「日中も夜間も一人であることが多い」が 16.2%、「夜間は一人であることが多い(日中は家族がいる)」が 1.8%となっています。

問 18 日中独居・夜間独居の有無

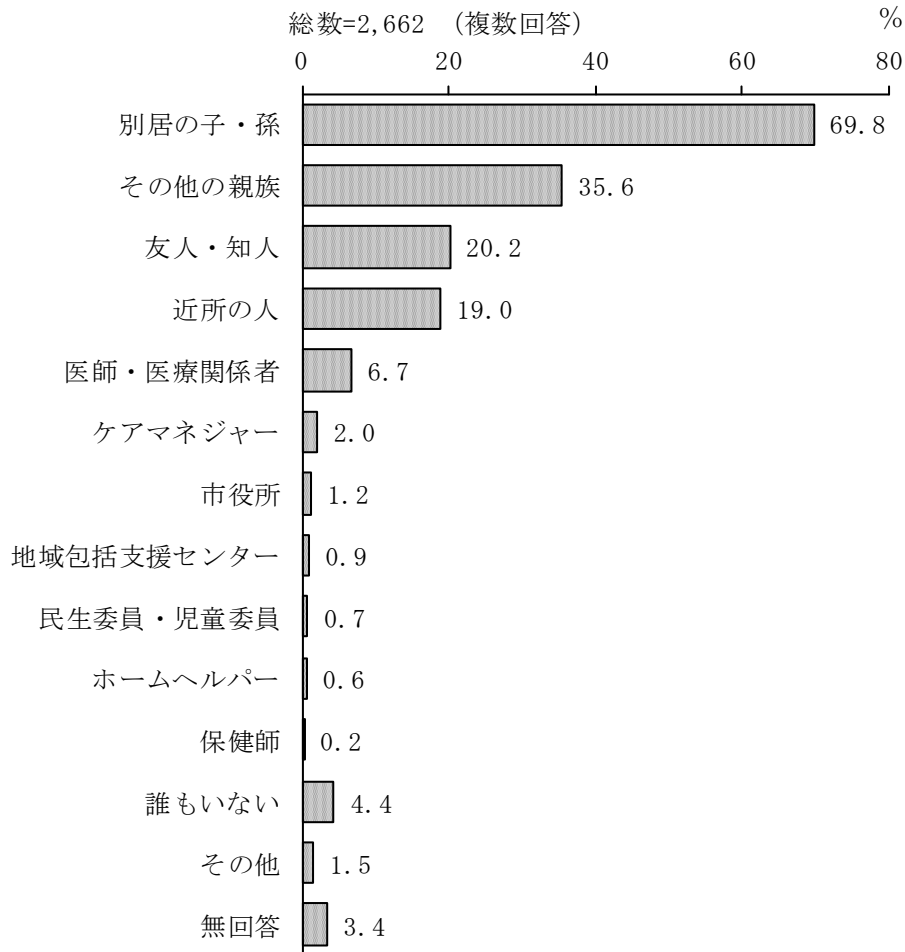


(3) 緊急時の連絡先

問 19 あなたは、同居している家族以外に、緊急時に連絡できる人がいますか。
(〇はいくつでも)

「別居の子・孫」が69.8%で最も多く、次いで「その他の親族」が35.6%、「友人・知人」が20.2%、「近所の人」が19.0%となっています。

問 19 緊急時の連絡先

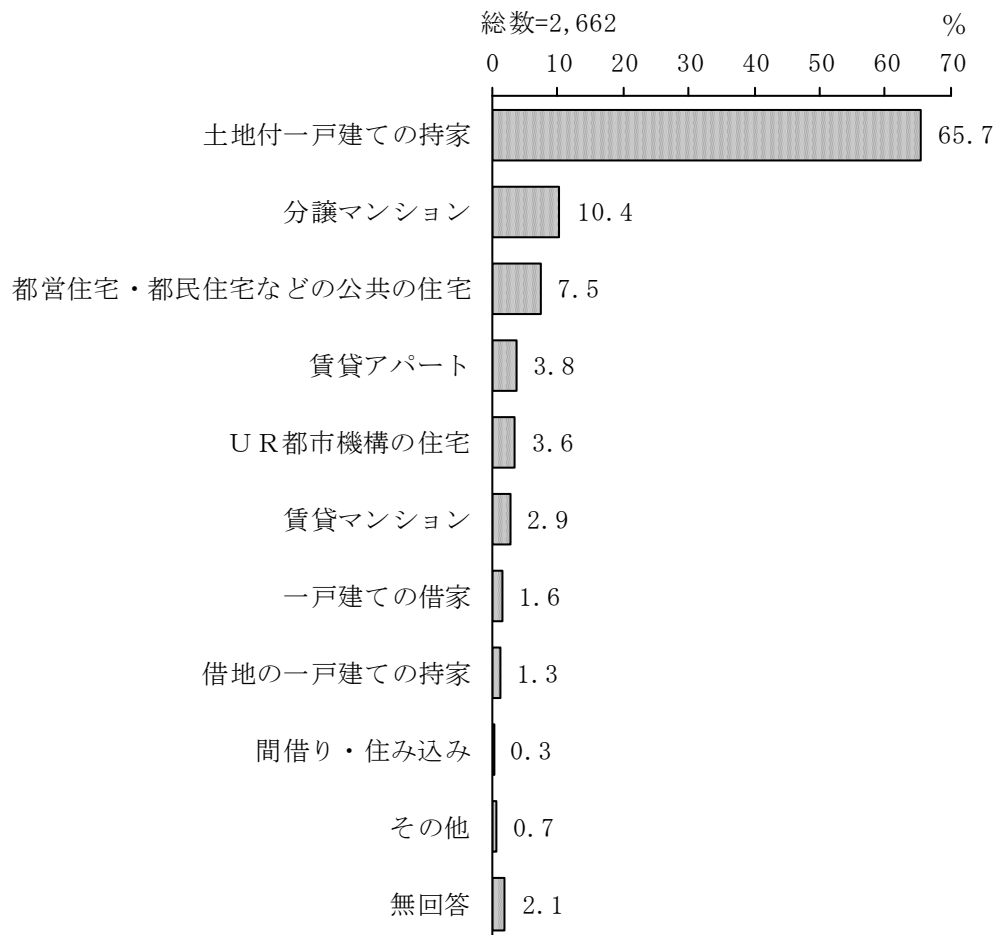


(4) 住まいの種類

問 20 あなたの住まいの種類をお聞きします。(一つに〇)

「土地付一戸建ての持家」が 65.7%で最も多く、次いで「分譲マンション」が 10.4%、「都営住宅・都民住宅などの公共の住宅」が 7.5%となっています。

問 20① 住まいの種類



問 20② 住まいの種類（居住地域別）

居住地域別に見ると、中央西圏域では「分譲マンション」、「都営住宅・都民住宅などの公共の住宅」が比較的多くなっています。

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	土地付 一戸建て の持家	借地 の一戸建て の持家	一戸建て の借家	分譲 マンション	賃貸 マンション	賃貸 アパート	都営住宅・都民住宅 などの公共の住宅	UR都市 機構の住宅	間借り・住み込み	その他	無回答	
全体		2,662 100.0	1,748 65.7	35 1.3	43 1.6	277 10.4	76 2.9	102 3.8	200 7.5	97 3.6	8 0.3	19 0.7	57 2.1	
居住地域	西圏域	516 100.0	406 78.7	3 0.6	6 1.2	48 9.3	11 2.1	7 1.4	18 3.5	-	2 0.4	5 1.0	10 1.9	
	中央西圏域	566 100.0	325 57.4	5 0.9	8 1.4	86 15.2	12 2.1	17 3.0	84 14.8	20 3.5	-	2 0.4	7 1.2	
	中央圏域	148 100.0	100 67.6	1 0.7	1 0.7	14 9.5	9 6.1	11 7.4	6 4.1	2 1.4	-	-	4 2.7	
	中央東圏域	700 100.0	427 61.0	8 1.1	17 2.4	36 5.1	25 3.6	30 4.3	60 8.6	73 10.4	4 0.6	4 0.6	16 2.3	
	東圏域	690 100.0	471 68.3	17 2.5	11 1.6	88 12.8	18 2.6	32 4.6	29 4.2	1 0.1	2 0.3	5 0.7	16 2.3	
	市外の施設や グループホーム等	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	無回答	41 100.0	19 46.3	1 2.4	-	5 12.2	1 2.4	5 12.2	3 7.3	1 2.4	-	2 4.9	4 9.8	

問 20③ 住まいの種類（世帯構成別）

世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では「土地付一戸建ての持家」がやや少なく、「賃貸アパート」、「都営住宅・都民住宅などの公共の住宅」が比較的多くなっています。

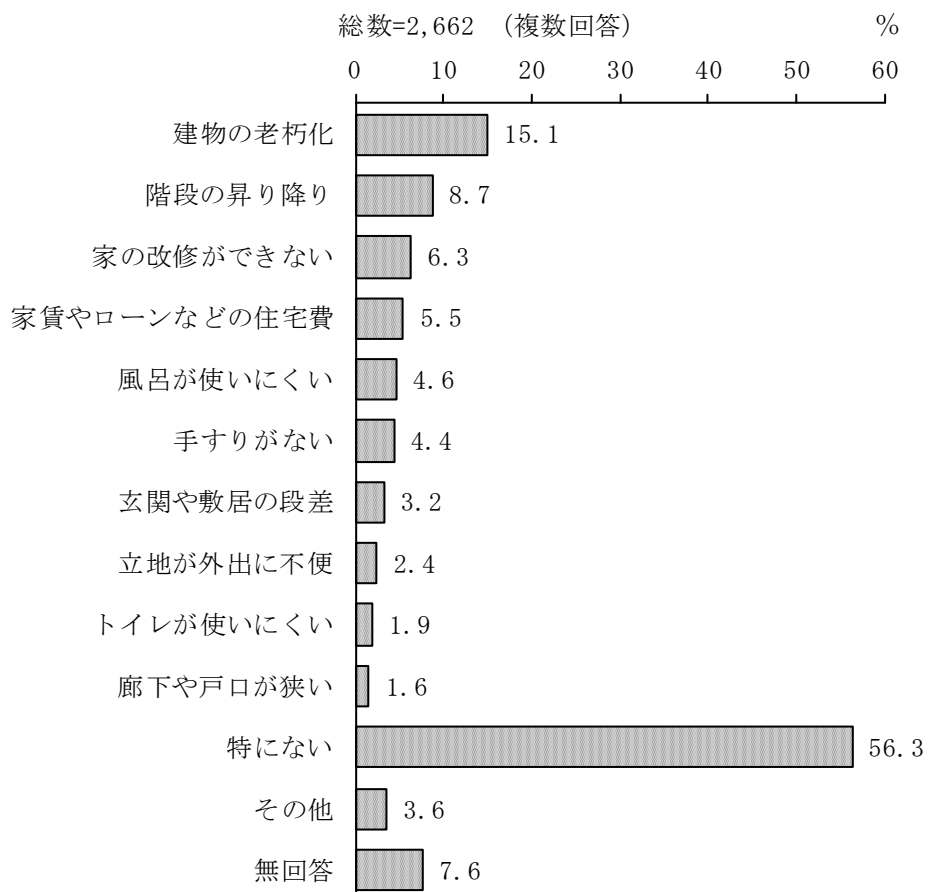
上段：人数 下段：構成比（%）		全体	土地付 一戸建て の持家	借地 の一戸建て の持家	一戸建て の借家	分譲 マンション	賃貸 マンション	賃貸 アパート	都営住宅・都民住宅 などの公共の住宅	UR都市 機構の住宅	間借り・住み込み	その他	無回答	
全体		2,662 100.0	1,748 65.7	35 1.3	43 1.6	277 10.4	76 2.9	102 3.8	200 7.5	97 3.6	8 0.3	19 0.7	57 2.1	
世帯構成	ひとり暮らし	446 100.0	195 43.7	2 0.4	8 1.8	47 10.5	19 4.3	57 12.8	62 13.9	38 8.5	3 0.7	5 1.1	10 2.2	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	1,022 100.0	728 71.2	7 0.7	8 0.8	115 11.3	18 1.8	20 2.0	77 7.5	29 2.8	-	3 0.3	17 1.7	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	175 100.0	108 61.7	4 2.3	5 2.9	31 17.7	4 2.3	6 3.4	9 5.1	4 2.3	1 0.6	-	3 1.7	
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	94 100.0	61 64.9	1 1.1	2 2.1	7 7.4	2 2.1	1 1.1	10 10.6	3 3.2	2 2.1	1 1.1	4 4.3	
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同)	883 100.0	638 72.3	21 2.4	18 2.0	71 8.0	32 3.6	16 1.8	41 4.6	22 2.5	2 0.2	6 0.7	16 1.8	
	その他(施設や グループホーム等)	8 100.0	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-	-	-	-	3 37.5	-
	無回答	34 100.0	16 47.1	-	-	5 14.7	1 2.9	2 5.9	1 2.9	1 2.9	-	1 2.9	7 20.6	

(5) 住まいについて困っていること

問 21 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

「建物の老朽化」が 15.1%で最も多く、次いで「階段の昇り降り」が 8.7%、「家の改修ができない」が 6.3%、「家賃やローンなどの住宅費」が 5.5%となっています。

問 21① 住まいについて困っていること



問 21② 住まいについて困っていること（住まいの種類別）

住まいの種類別に見ると、賃貸マンション、賃貸アパート、UR 都市機構住宅では「家賃やローンなどの住宅費」が比較的多くなっています。

		全体	階段の昇り降り	玄関や敷居の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	廊下や戸口が狭い	手すりがない	立地が外出に不便	家賃やローンなどの住宅費	建物の老朽化	家の改修ができない	特にない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比（%）															
全体		2,662 100.0	232 8.7	86 3.2	123 4.6	51 1.9	42 1.6	116 4.4	65 2.4	146 5.5	402 15.1	168 6.3	1,500 56.3	95 3.6	203 7.6
住まいの種類	土地付一戸建ての持家	1,748 100.0	159 9.1	63 3.6	53 3.0	26 1.5	24 1.4	77 4.4	39 2.2	27 1.5	318 18.2	135 7.7	1,017 58.2	62 3.5	105 6.0
	借地の一戸建ての持家	35 100.0	1 2.9	1 2.9	2 5.7	1 2.9	1 2.9	2 5.7	1 2.9	1 2.9	6 17.1	5 14.3	24 68.6	2 5.7	2 5.7
	一戸建ての借家	43 100.0	2 4.7	1 2.3	4 9.3	1 2.3	-	7 16.3	1 2.3	8 18.6	8 18.6	2 4.7	18 41.9	-	4 9.3
	分譲マンション	277 100.0	22 7.9	3 1.1	5 1.8	1 0.4	-	6 2.2	7 2.5	18 6.5	16 5.8	7 2.5	190 68.6	6 2.2	13 4.7
	賃貸マンション	76 100.0	5 6.6	1 1.3	3 3.9	2 2.6	2 2.6	4 5.3	1 1.3	25 32.9	4 5.3	1 1.3	30 39.5	3 3.9	6 7.9
	賃貸アパート	102 100.0	12 11.8	8 7.8	17 16.7	8 7.8	7 6.9	12 11.8	8 7.8	25 24.5	22 21.6	9 8.8	42 41.2	4 3.9	4 3.9
	都営住宅・都民住宅などの公共の住宅	200 100.0	8 4.0	3 1.5	25 12.5	7 3.5	3 1.5	3 1.5	6 3.0	11 5.5	8 4.0	4 2.0	124 62.0	10 5.0	18 9.0
	UR都市機構の住宅	97 100.0	15 15.5	4 4.1	12 12.4	3 3.1	3 3.1	1 1.0	2 2.1	26 26.8	12 12.4	3 3.1	42 43.3	2 2.1	4 4.1
	間借り・住み込み	8 100.0	-	-	-	-	-	1 12.5	-	3 37.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-	-
	その他	19 100.0	5 26.3	2 10.5	1 5.3	1 5.3	1 5.3	1 5.3	-	-	3 15.8	-	6 31.6	6 31.6	2 10.5
	無回答	57 100.0	3 5.3	-	1 1.8	1 1.8	1 1.8	2 3.5	-	2 3.5	3 5.3	1 1.8	5 8.8	-	45 78.9

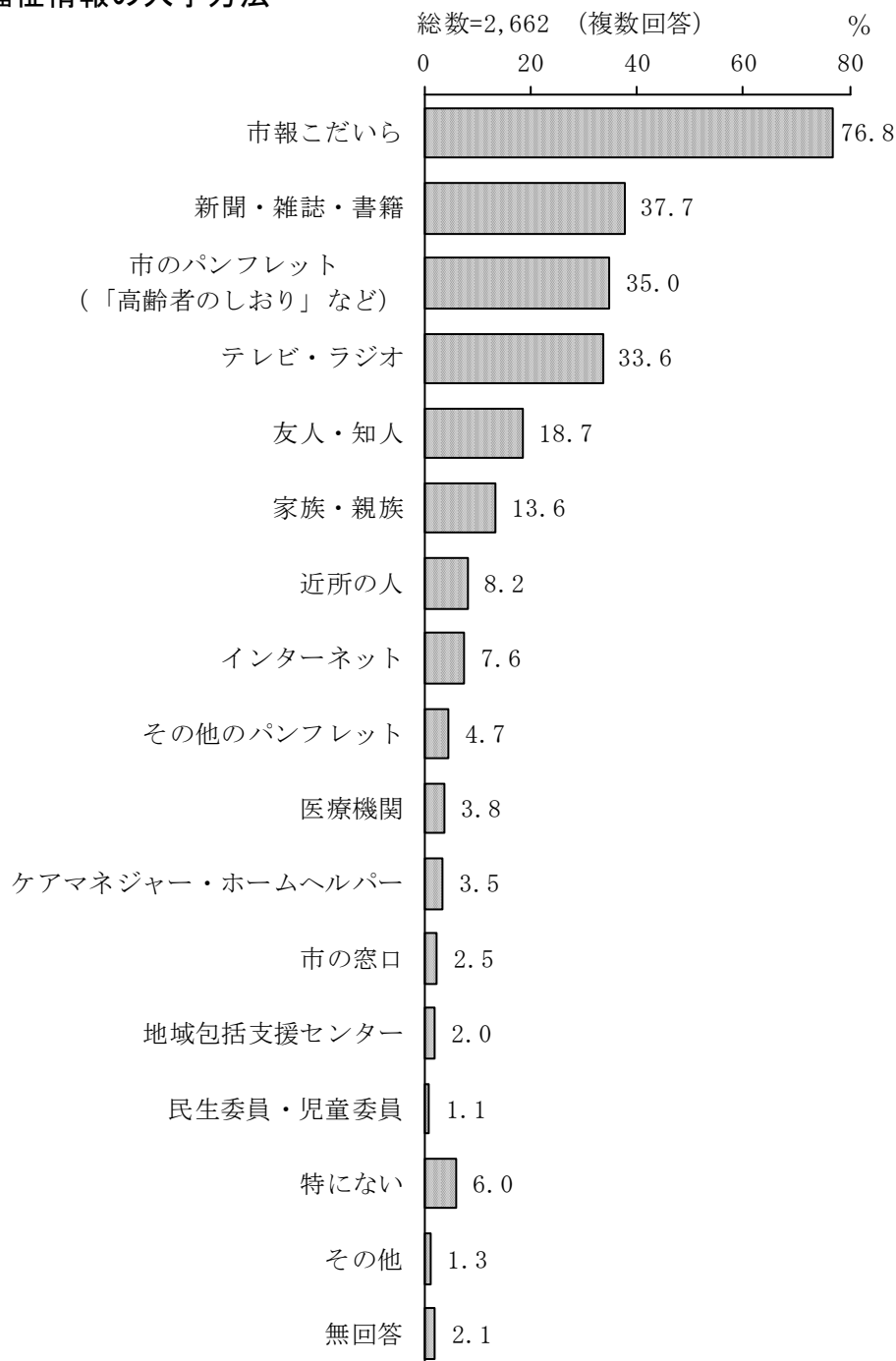
4 相談・権利擁護について

(1) 福祉情報の入手方法

問 22 あなたは、福祉に関する情報をどこから知ることが多いですか。
(〇はいくつでも)

「市報こだいら」が76.8%で最も多く、「新聞・雑誌・書籍」が37.7%、「市のパンフレット（「高齢者のしおり」など）」が35.0%、「テレビ・ラジオ」が33.6%となっています。

問 22 福祉情報の入手方法



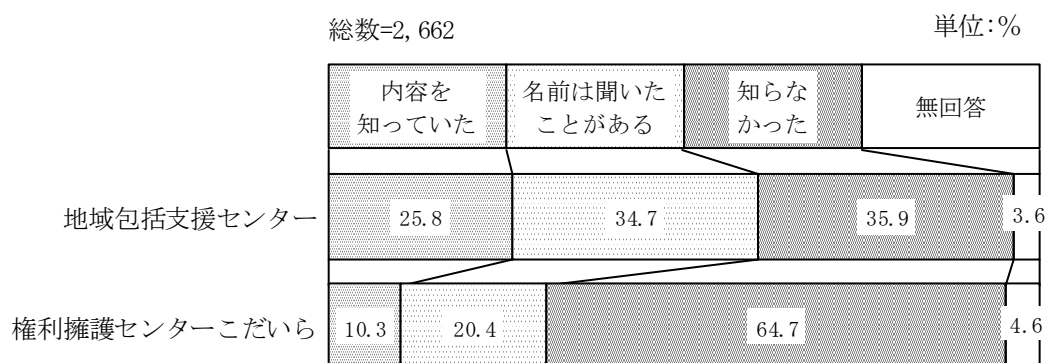
(2) 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度

問 23 あなたは、次のような相談窓口を知っていましたか。(それぞれ一つに○)

地域包括支援センターについては、「内容を知っていた」が 25.8%、「名前は聞いたことがある」が 34.7%と、約6割はその存在を知っているという回答でした。

権利擁護センターこだいらについては、「内容を知っていた」が 10.3%、「名前は聞いたことがある」が 20.4%と、約3割はその存在を知っているという回答でした。

問 23① 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度



問 23② 地域包括支援センターの認知度（近所づきあいの程度別）

近所づきあいの程度別に見ると、近所づきあいが多いほど「内容を知っていた」が、近所づきあいが少ないほど「知らなかった」が多くなっています。

		全体	内容を知っていた	名前は聞いたことがある	知らなかった	無回答
上段：人数 下段：構成比 (%)						
全体		2,662 100.0	688 25.8	923 34.7	955 35.9	96 3.6
近所づきあいの程度	家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	532 100.0	194 36.5	178 33.5	136 25.6	24 4.5
	立ち話をする程度のつきあいが多	910 100.0	243 26.7	350 38.5	285 31.3	32 3.5
	あいさつをする程度のつきあいが多	958 100.0	200 20.9	322 33.6	414 43.2	22 2.3
	近所づきあいはほとんどない	205 100.0	38 18.5	61 29.8	97 47.3	9 4.4
	無回答	57 100.0	13 22.8	12 21.1	23 40.4	9 15.8

高齢者等の相談窓口

ちいきほつかつしえん 地域包括支援センター

介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者の健康・福祉・医療に関する様々な相談を受け、高齢者の見守り、高齢者虐待への対応など、心身の状態に合わせた支援を行う、地域の総合的な拠点です。

はんりようご 権利擁護センターこだいら

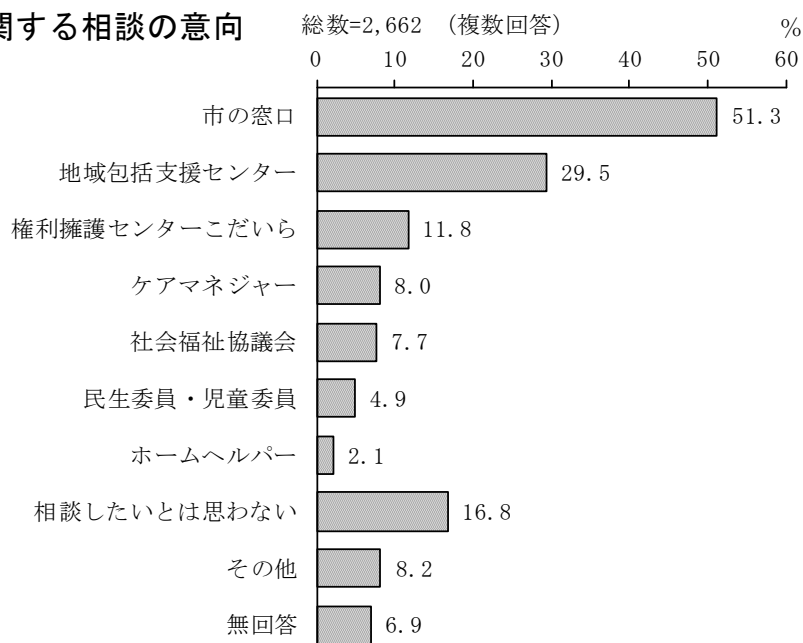
認知症状や知的障がい・精神障がいなどで 介護や福祉のサービスを選んだり、契約したり、金銭管理が難しくなった方に対し、地域福祉権利事業や成年後見制度、苦情の相談、法律専門相談を実施している窓口です。

(3) 福祉に関する相談の意向

問 24 あなたは困ったことや心配なことについて、次のような機関や支援者に相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「市の窓口」が51.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が29.5%、「権利擁護センターこだいら」が11.8%、「ケアマネジャー」が8.0%となっています。

問 24① 福祉に関する相談の意向



問 24② 福祉に関する相談の意向（要支援・要介護度別）

要支援・要介護度別に見ると、認定を受けていない方では「市の窓口」が、要支援・要介護認定を受けている方では概ね「ケアマネジャー」が最も多くなっています。要支援2では「地域包括支援センター」が最も多くなっています。

		全体	市の窓口	地域包括支援センター	権利擁護センター こだいら	社会福祉協議会	ホームヘルパー	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	相談したいとは思わない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比（％）												
全体		2,662 100.0	1,365 51.3	784 29.5	313 11.8	204 7.7	56 2.1	214 8.0	130 4.9	448 16.8	219 8.2	183 6.9
要支援・要介護度	認定は受けていない	2,424 100.0	1,276 52.6	712 29.4	298 12.3	187 7.7	35 1.4	128 5.3	117 4.8	424 17.5	202 8.3	161 6.6
	要支援1	38 100.0	14 36.8	15 39.5	2 5.3	1 2.6	5 13.2	16 42.1	3 7.9	4 10.5	2 5.3	4 10.5
	要支援2	48 100.0	19 39.6	21 43.8	3 6.3	7 14.6	6 12.5	20 41.7	2 4.2	3 6.3	3 6.3	1 2.1
	要介護1	24 100.0	7 29.2	5 20.8	2 8.3	3 12.5	2 8.3	11 45.8	2 8.3	3 12.5	3 12.5	1 4.2
	要介護2	22 100.0	7 31.8	4 18.2	-	-	2 9.1	11 50.0	1 4.5	3 13.6	4 18.2	1 4.5
	要介護3	14 100.0	8 57.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1	2 14.3	11 78.6	-	-	-	-
	要介護4	10 100.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	8 80.0	-	-	-	-
	要介護5	7 100.0	4 57.1	1 14.3	-	-	-	4 57.1	-	1 14.3	-	-
	無回答	75 100.0	26 34.7	21 28.0	5 6.7	5 6.7	3 4.0	5 6.7	5 6.7	10 13.3	5 6.7	14 18.7

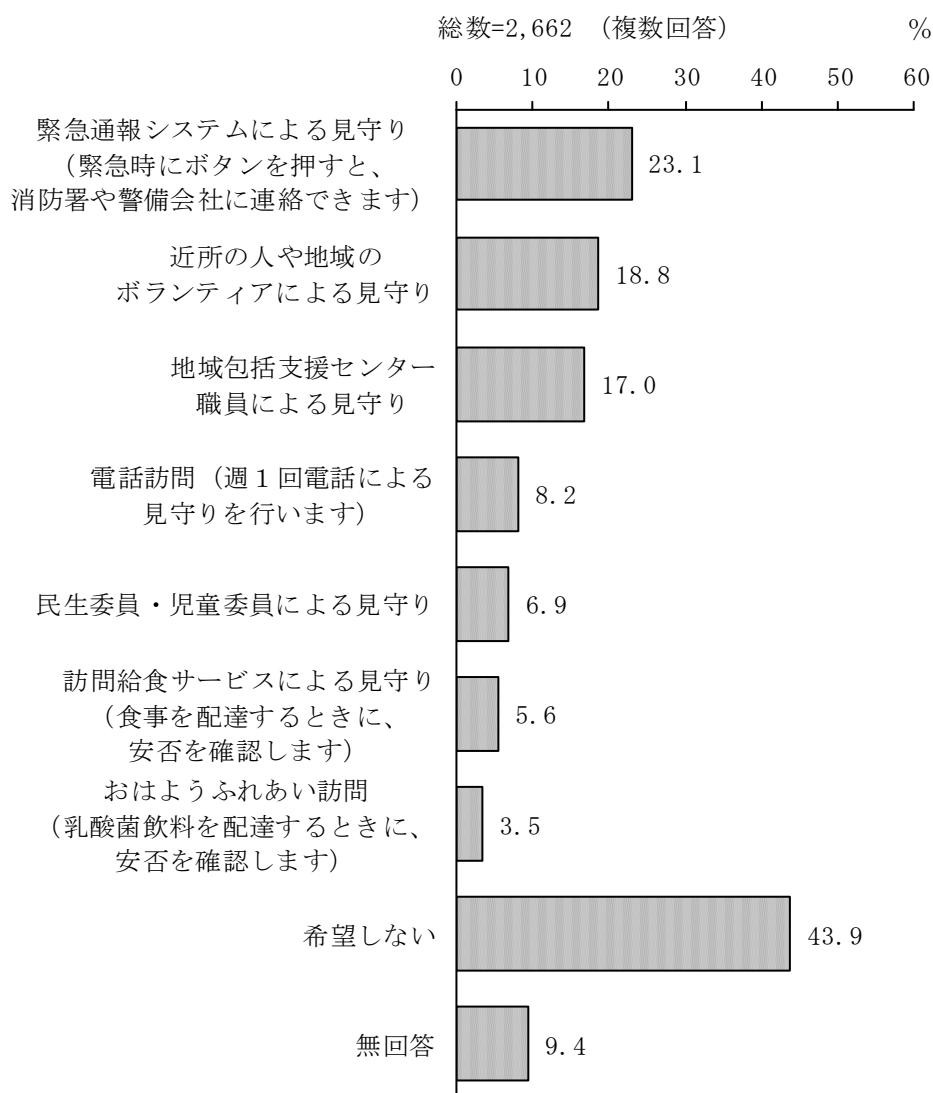
(4) 見守りや声かけの希望

問 25 あなたは、次のような見守りや声かけを希望しますか。(〇はいくつでも)

「緊急通報システムによる見守り（緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます）」が 23.1%で最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が 18.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が 17.0%となっています。

前回調査と比べて、「近所の人や地域のボランティアによる見守り」を希望する方の割合が2倍に増えています。また、総じて、見守りを希望する方が増えています。

問 25① 見守りや声かけの希望



問 25② 見守りや声かけの希望（世帯構成別）

世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では「緊急通報システムによる見守り（緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます）」が比較的多くなっています。

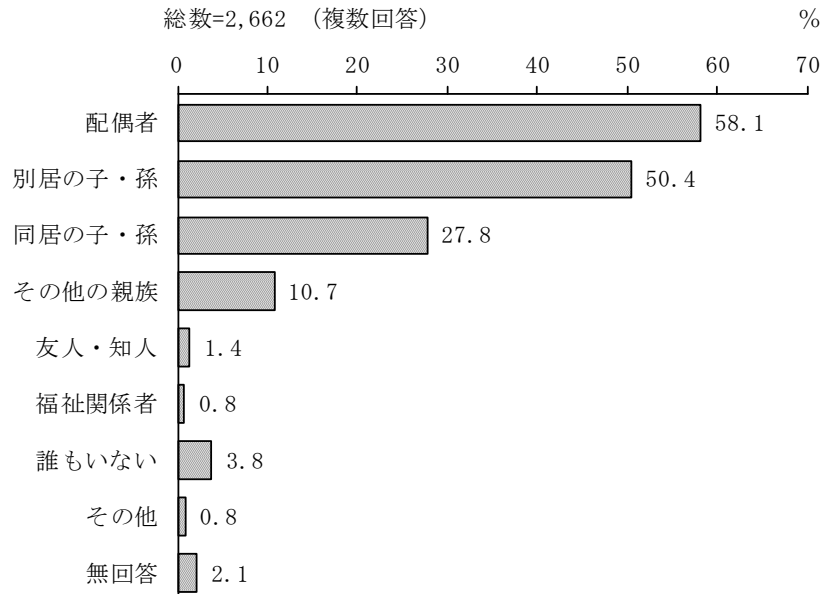
		全体	近所の人や地域のボランティアによる見守り	地域包括支援センター職員による見守り	民生委員・児童委員による見守り	訪問給食サービスによる見守り （食事を配達するときに、安否を確認します）	（乳酸菌飲料を配達するときに、安否を確認します）	おはようふれあい訪問見守りを行います （週1回電話による見守り）	電話訪問 （週1回電話による見守り）	緊急通報システムによる見守り （緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます）	希望しない	無回答
		上段：人数 下段：構成比（%）										
全体		2,662 100.0	500 18.8	452 17.0	185 6.9	148 5.6	93 3.5	217 8.2	615 23.1	1,168 43.9	251 9.4	
世帯構成	ひとり暮らし	446 100.0	94 21.1	75 16.8	41 9.2	26 5.8	17 3.8	53 11.9	156 35.0	139 31.2	45 10.1	
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳以上）	1,022 100.0	205 20.1	174 17.0	69 6.8	62 6.1	38 3.7	94 9.2	226 22.1	446 43.6	100 9.8	
	夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳未満）	175 100.0	28 16.0	23 13.1	14 8.0	8 4.6	6 3.4	10 5.7	29 16.6	100 57.1	10 5.7	
	その他の家族が同居 （全員65歳以上）	94 100.0	13 13.8	18 19.1	3 3.2	9 9.6	6 6.4	4 4.3	19 20.2	45 47.9	11 11.7	
	その他の家族が同居 （65歳未満の方も同居）	883 100.0	155 17.6	153 17.3	56 6.3	40 4.5	25 2.8	55 6.2	178 20.2	427 48.4	70 7.9	
	その他（施設やグループホーム等）	8 100.0	3 37.5	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0	2 25.0	
	無回答	34 100.0	2 5.9	7 20.6	2 5.9	2 5.9	-	1 2.9	6 17.6	9 26.5	13 38.2	

(5) 金銭の管理などをまかせられる人

問 26 あなたは将来、認知に不安を抱えるようになったときに、金銭の管理などをまかせられる人はいますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が 58.1%で最も多く、次いで「別居の子・孫」が 50.4%、「同居の子・孫」が 27.8%、「その他の親族」が 10.7%となっています。

問 26① 金銭の管理などをまかせられる人



問 26② 金銭の管理などをまかせられる人 (世帯構成別)

世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では「誰もいない」が比較的多くなっています。

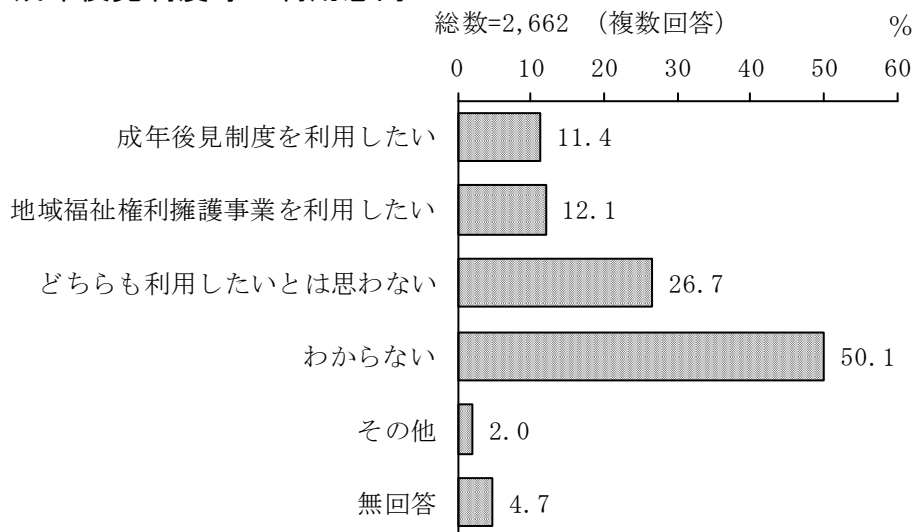
	全体	配偶者	同居の子・孫	別居の子・孫	その他の親族	友人・知人	福祉関係者	誰もいない	その他	無回答	
											上段：人数
全体	2,662	1,547	739	1,342	286	36	20	100	22	56	
	100.0	58.1	27.8	50.4	10.7	1.4	0.8	3.8	0.8	2.1	
世帯構成	ひとり暮らし	446	7	12	246	95	15	10	67	11	13
		100.0	1.6	2.7	55.2	21.3	3.4	2.2	15.0	2.5	2.9
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	1,022	830	42	655	84	13	5	14	7	18
		100.0	81.2	4.1	64.1	8.2	1.3	0.5	1.4	0.7	1.8
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	175	153	6	91	19	1	1	1	-	6
		100.0	87.4	3.4	52.0	10.9	0.6	0.6	0.6	-	3.4
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	94	39	19	34	26	3	-	6	2	6
	100.0	41.5	20.2	36.2	27.7	3.2	-	6.4	2.1	6.4	
その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	883	502	644	304	59	3	2	9	2	10	
	100.0	56.9	72.9	34.4	6.7	0.3	0.2	1.0	0.2	1.1	
その他(施設や グループホーム等)	8	3	2	2	1	1	1	2	-	-	
	100.0	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-	
無回答	34	13	14	10	2	-	1	1	-	3	
	100.0	38.2	41.2	29.4	5.9	-	2.9	2.9	-	8.8	

(6) 成年後見制度等の利用意向

問 27 あなたは、現在または将来、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業を利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「成年後見制度を利用したい」が 11.4%、「地域福祉権利擁護事業を利用したい」が 12.1%、「どちらも利用したいとは思わない」が 26.7%となっています。

問 27 成年後見制度等の利用意向



権利擁護事業について

せいねんこうけんせいど **成年後見制度**

高齢者や障がい者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人等が契約や手続きなどを代行したり、本人が誤って結んだ契約を取り消したりします。

ちいきふくしけんりようごじぎょう にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう **地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業)**

高齢者や障がい者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用等を支援する制度です。利用契約を結び、支援計画に沿って支援を行います。

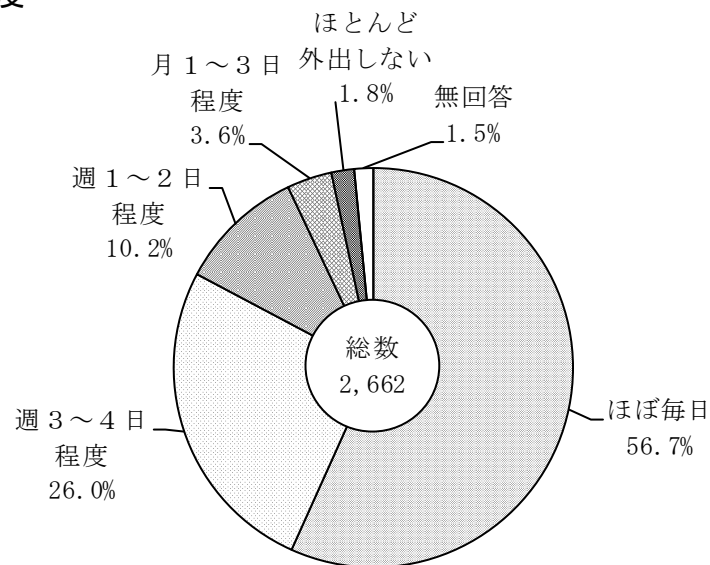
5 外出・地域とのつながりについて

(1) 外出の頻度

問 28 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(一つに○)

「ほぼ毎日」が 56.7%で最も多く、次いで「週3～4日程度」が 26.0%、「週1～2日程度」が 10.2%となっています。

問 28 外出の頻度

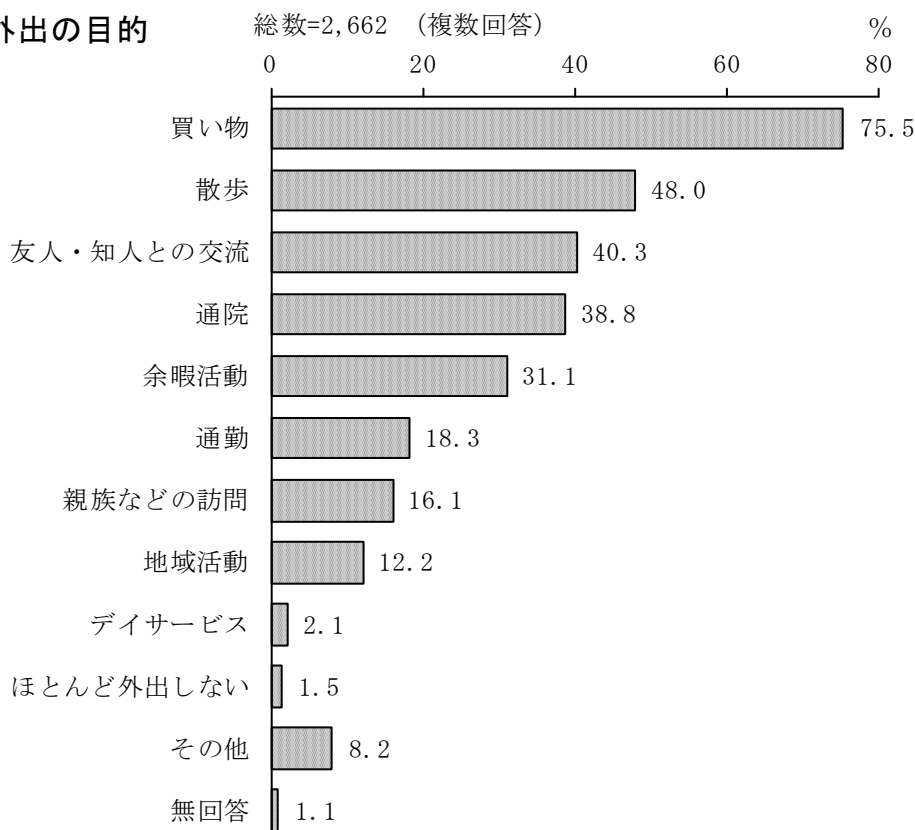


(2) 外出の目的

問 29 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(〇はいくつでも)

「買い物」が75.5%で最も多く、次いで「散歩」が48.0%、「友人・知人との交流」が40.3%、「通院」が38.8%となっています。

問 29① 外出の目的



問 29② 外出の目的 (性別)

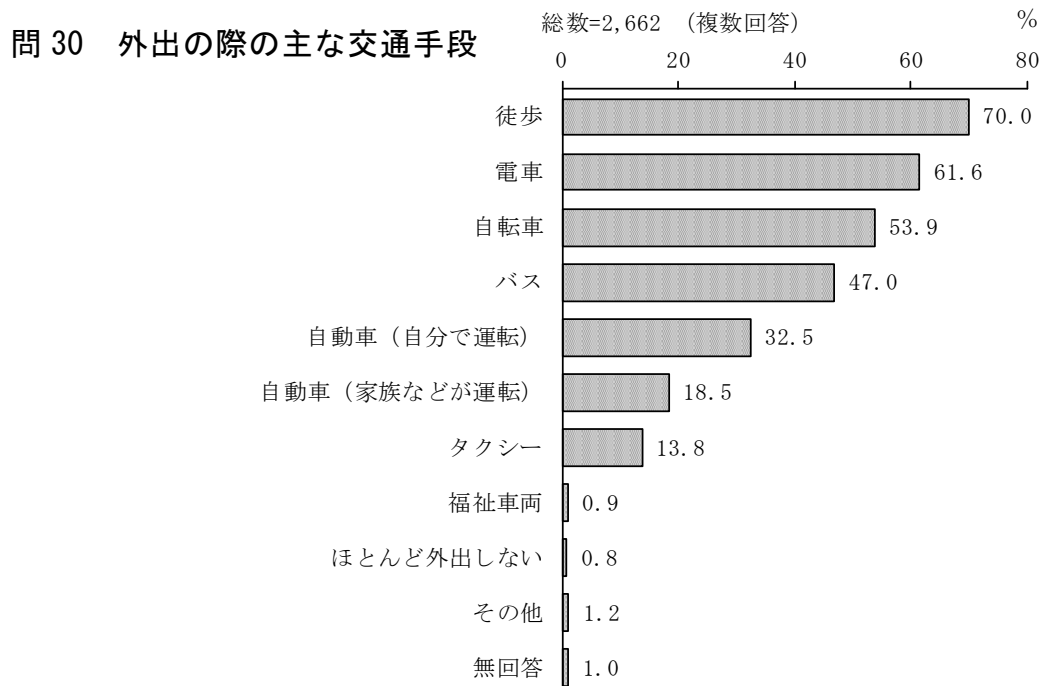
性別で見ると、男性より女性の方が「買い物」、「友人・知人との交流」が多くなっています。

		全体	通勤	通院	買い物	散歩	デイサービス	余暇活動	地域活動	親族などの訪問	友人・知人との交流	ほとんど外出しない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比 (%)														
全体		2,662 100.0	487 18.3	1,034 38.8	2,010 75.5	1,279 48.0	57 2.1	827 31.1	324 12.2	428 16.1	1,073 40.3	39 1.5	217 8.2	28 1.1
性別	男性	1,194 100.0	316 26.5	407 34.1	756 63.3	638 53.4	23 1.9	368 30.8	137 11.5	141 11.8	364 30.5	12 1.0	110 9.2	10 0.8
	女性	1,444 100.0	168 11.6	617 42.7	1,236 85.6	631 43.7	34 2.4	451 31.2	183 12.7	281 19.5	698 48.3	26 1.8	106 7.3	16 1.1
	無回答	24 100.0	3 12.5	10 41.7	18 75.0	10 41.7	- -	8 33.3	4 16.7	6 25.0	11 45.8	1 4.2	1 4.2	2 8.3

(3) 外出の際の主な交通手段

問 30 あなたは、外出する際に、どのような交通手段を利用することが多いですか。
(〇はいくつでも)

「徒歩」が 70.0%で最も多く、次いで「電車」が 61.6%、「自転車」が 53.9%、「バス」が 47.0%となっています。

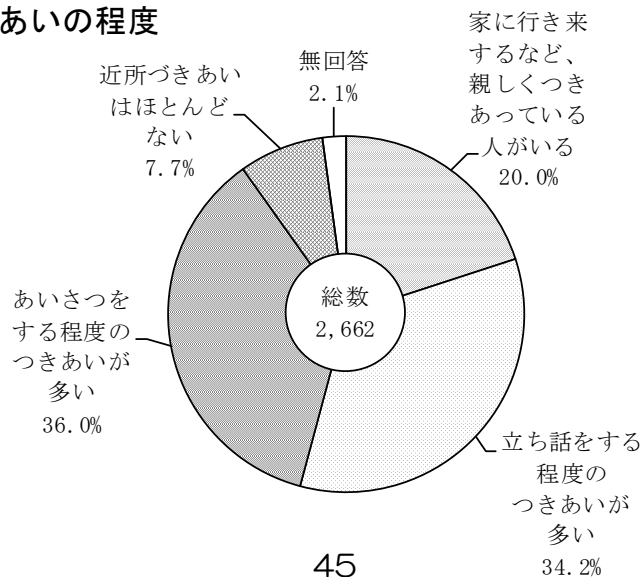


(4) 近所づきあいの程度

問 31 あなたは普段、どの程度の近所づきあいをしていますか。
(近いもの一つに〇)

「あいさつをする程度のつきあが多い」が 36.0%で最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあが多い」が 34.2%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が 20.0%、「近所づきあいはほとんどない」が 7.7%となっています。

問 31① 近所づきあいの程度



問 31② 近所づきあいの程度（性別）

性別で見ると、男性より女性のほうが近所づきあいが多傾向にあり、男性では「あいさつをする程度のつきあが多い」が、女性では「立ち話をする程度のつきあが多い」が最も多くなっています。

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	家に行き来するなど、 親しくつきあっている 人がいる	立ち話をする程度の つきあが多い	あいさつをする程度の つきあが多い	近所づきあいは ほとんどない	無回答
全体		2,662 100.0	532 20.0	910 34.2	958 36.0	205 7.7	57 2.1
性別	男性	1,194 100.0	131 11.0	342 28.6	586 49.1	112 9.4	23 1.9
	女性	1,444 100.0	395 27.4	564 39.1	362 25.1	90 6.2	33 2.3
	無回答	24 100.0	6 25.0	4 16.7	10 41.7	3 12.5	1 4.2

問 31③ 近所づきあいの程度（世帯構成別）

世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では「近所づきあいはほとんどない」が比較的多くなっています。

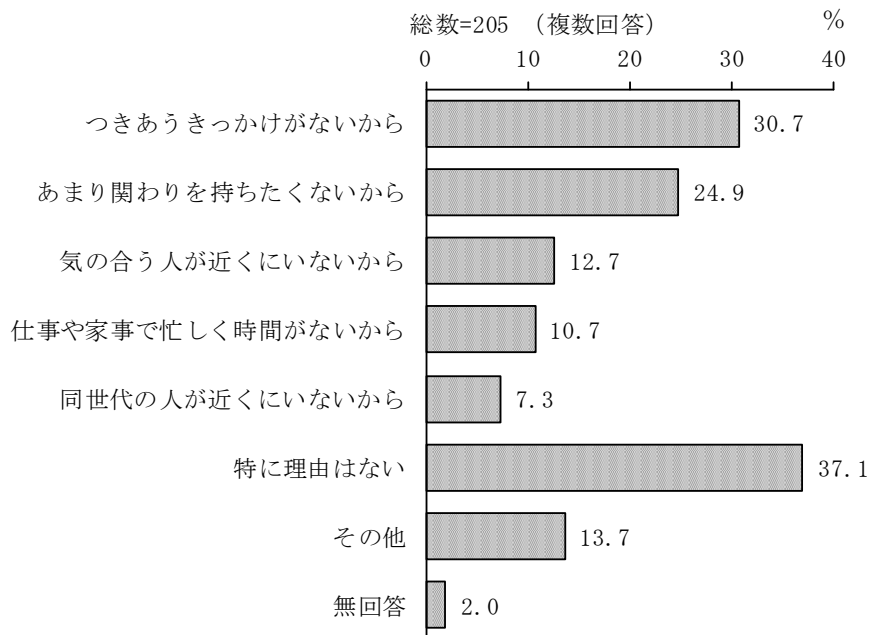
上段：人数 下段：構成比（%）		全体	家に行き来するなど、 親しくつきあっている 人がいる	立ち話をする程度の つきあが多い	あいさつをする程度の つきあが多い	近所づきあいは ほとんどない	無回答	
全体		2,662 100.0	532 20.0	910 34.2	958 36.0	205 7.7	57 2.1	
世帯 構成	ひとり暮らし	446 100.0	99 22.2	143 32.1	132 29.6	63 14.1	9 2.0	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	1,022 100.0	210 20.5	387 37.9	351 34.3	55 5.4	19 1.9	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	175 100.0	11 6.3	39 22.3	109 62.3	15 8.6	1 0.6	
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	94 100.0	21 22.3	31 33.0	36 38.3	4 4.3	2 2.1	
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	883 100.0	185 21.0	302 34.2	316 35.8	59 6.7	21 2.4	
	その他(施設や グループホーム等)	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	2 37.5	3 -	-
	無回答	34 100.0	5 14.7	6 17.6	12 35.3	6 17.6	5 14.7	

(5) 近所づきあいがない理由

問 32 問 31 で「4 近所づきあいはほとんどない」と回答した方にお聞きします。
近所づきあいがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「つきあうきっかけがないから」が 30.7%で最も多く、次いで「あまり関わりを持ちたくないから」が 24.9%、「気の合う人が近くにいないから」が 12.7%、「仕事や家事で忙しく時間がないから」が 10.7%となっています。「その他」では、「引っ越してきたばかりだから」、「健康状態が良くないから」などの回答がありました。

問 32 近所づきあいがない理由

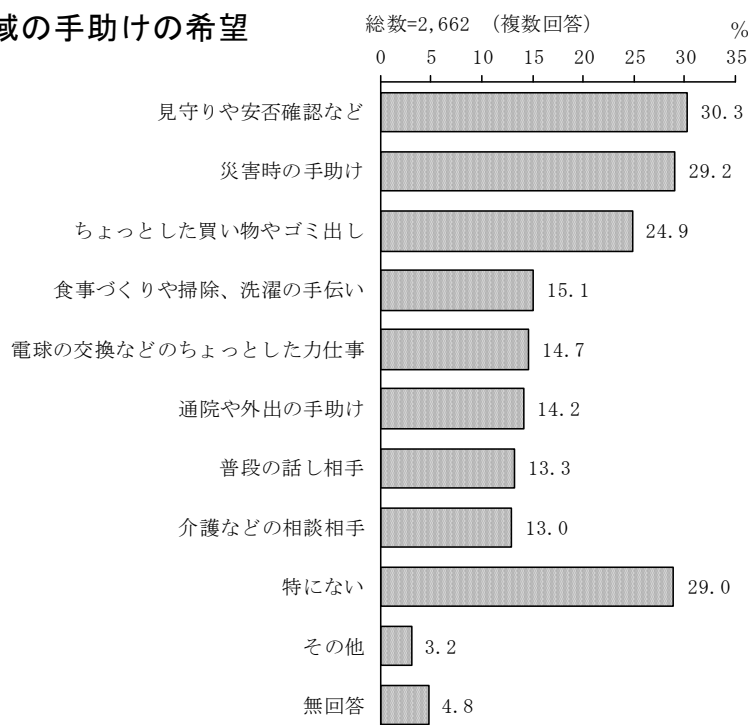


(6) 地域の手助けの希望

問 33 あなたは、病気などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどのような手助けをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

「見守りや安否確認など」が 30.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が 29.2%、「ちょっとした買い物やゴミ出し」が 24.9%、「食事づくりや掃除、洗濯の手伝い」が 15.1%となっています。

問 33① 地域の手助けの希望



問 33② 地域の手助けの希望 (近所づきあいの程度別)

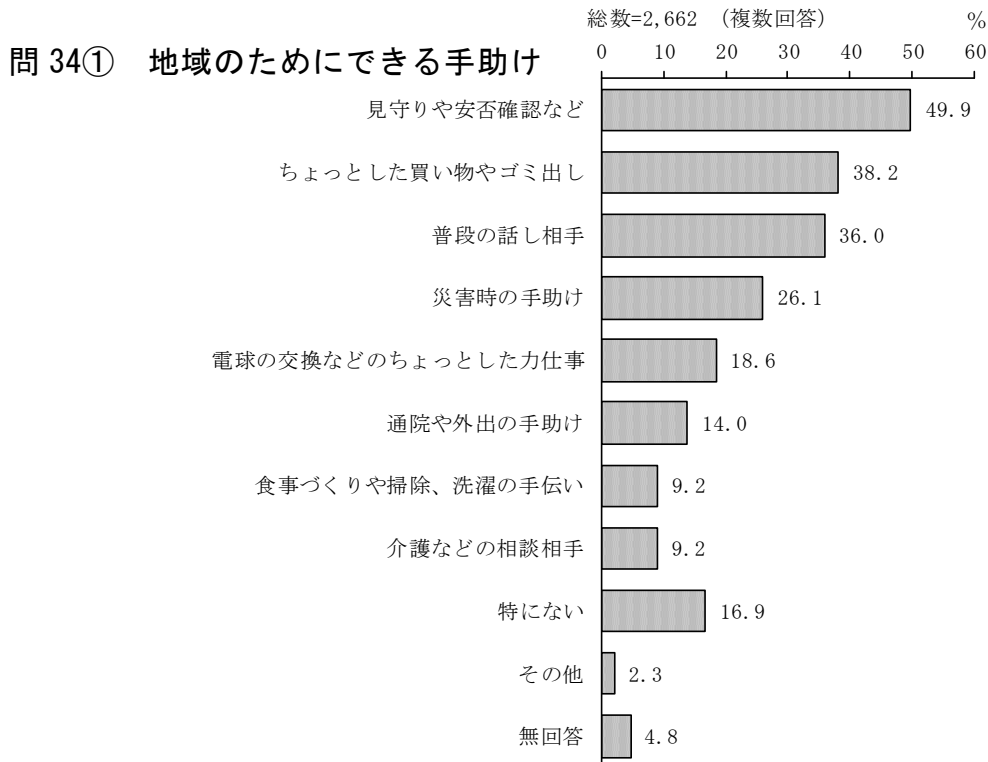
近所づきあいの程度別に見ると、「見守りや安否確認など」、「ちょっとした買い物やゴミ出し」などは近所づきあいが多い方のほうが多くなっていますが、「災害時の手助け」は近所づきあいが少ない方のほうが多くなっています。

	全体	見守りや安否確認など	普段の話し相手	介護などの相談相手	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除、洗濯の手伝い	電球の交換などのちょっとした力仕事	通院や外出の手助け	災害時の手助け	特にない	その他	無回答	
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
全体	2,662	807	354	347	663	403	391	378	776	773	84	129	
	100.0	30.3	13.3	13.0	24.9	15.1	14.7	14.2	29.2	29.0	3.2	4.8	
近所づきあいの程度	家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	532	191	112	84	171	103	85	94	132	126	12	24
		100.0	35.9	21.1	15.8	32.1	19.4	16.0	17.7	24.8	23.7	2.3	4.5
	立ち話をする程度のつきあいが多い	910	316	145	124	246	144	155	129	280	234	22	37
		100.0	34.7	15.9	13.6	27.0	15.8	17.0	14.2	30.8	25.7	2.4	4.1
	あいさつをする程度のつきあいが多い	958	252	80	111	203	125	115	119	289	338	33	28
		100.0	26.3	8.4	11.6	21.2	13.0	12.0	12.4	30.2	35.3	3.4	2.9
近所づきあいはほとんどない	205	43	13	25	38	28	29	32	69	69	14	8	
	100.0	21.0	6.3	12.2	18.5	13.7	14.1	15.6	33.7	33.7	6.8	3.9	
無回答	57	5	4	3	5	3	7	4	6	6	3	32	
	100.0	8.8	7.0	5.3	8.8	5.3	12.3	7.0	10.5	10.5	5.3	56.1	

(7) 地域のためにできる手助け

問 34 高齢者など地域の住民が安心して暮らしていけるように、あなた自身ができる手助けは何ですか。(〇はいくつでも)

「見守りや安否確認など」が 49.9%で最も多く、次いで「ちょっとした買い物やゴミ出し」が 38.2%、「普段の話し相手」が 36.0%、「災害時の手助け」が 26.1%となっています。



問 34② 地域のためにできる手助け (性別)

性別で見ると、女性より男性のほうが「電球の交換などのちょっとした力仕事」、「災害時の手助け」が多く、男性より女性のほうが「普段の話し相手」、「ちょっとした買い物やゴミ出し」が多くなっています。

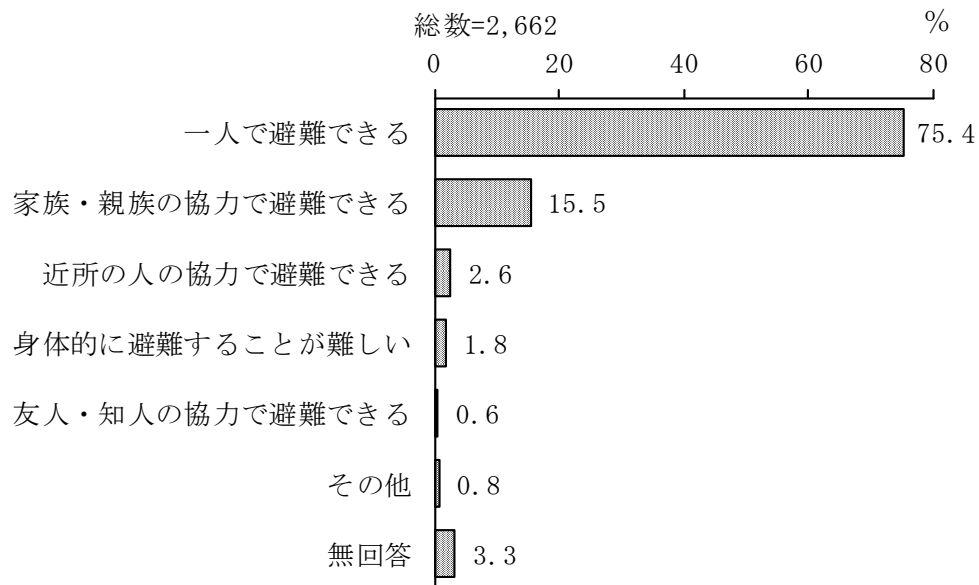
	全体	見守りや安否確認など	普段の話し相手	介護などの相談相手	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除、洗濯の手伝い	電球の交換などのちょっとした力仕事	通院や外出の手助け	災害時の手助け	特にない	その他	無回答	
		上段：人数 下段：構成比 (%)											
全体	2,662 100.0	1,329 49.9	958 36.0	245 9.2	1,018 38.2	246 9.2	494 18.6	372 14.0	696 26.1	449 16.9	61 2.3	128 4.8	
性別	男性	1,194 100.0	563 47.2	317 26.5	81 6.8	360 30.2	46 3.9	399 33.4	157 13.1	406 34.0	228 19.1	21 1.8	51 4.3
	女性	1,444 100.0	753 52.1	632 43.8	160 11.1	647 44.8	198 13.7	88 6.1	210 14.5	282 19.5	217 15.0	39 2.7	75 5.2
	無回答	24 100.0	13 54.2	9 37.5	4 16.7	11 45.8	2 8.3	7 29.2	5 20.8	8 33.3	4 16.7	1 4.2	2 8.3

(8) 災害時の避難

問 35 あなたは災害時などに一人で避難できますか。または、避難に協力してくれる人がいますか。(一つに〇)

「一人で避難できる」が 75.4%と最も多く、次いで「家族・親族の協力で避難できる」が 15.5%となっています。

問 35 災害時の避難

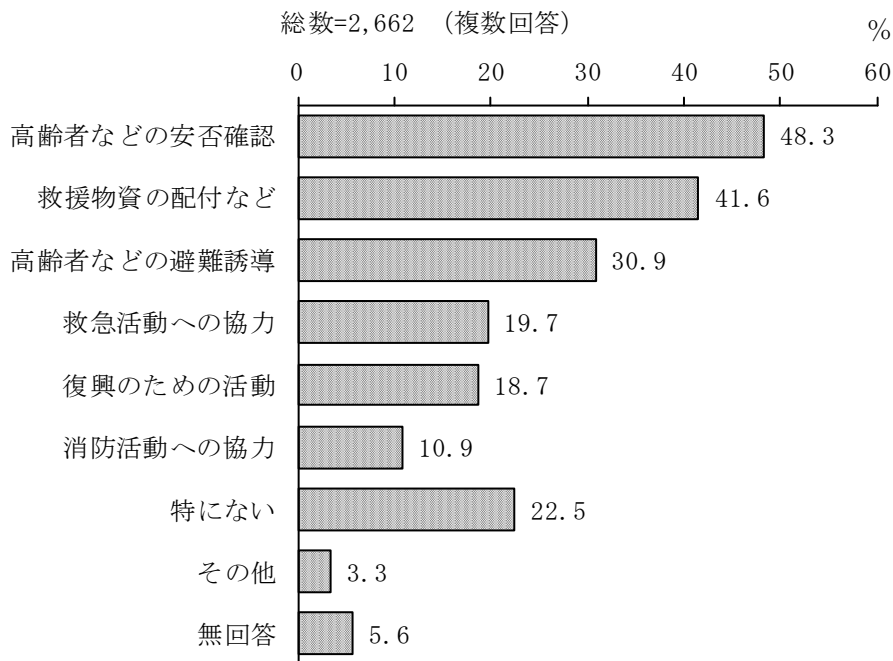


(9) 災害時に支援者として協力できること

問 36 あなたが、災害時に支援者として協力できることはありますか。
(〇はいくつでも)

「高齢者などの安否確認」が 48.3%で最も多く、次いで「救援物資の配付など」が 41.6%、「高齢者などの避難誘導」が 30.9%、「救急活動への協力」が 19.7%となっています。

問 36① 災害時に支援者として協力できること



問 36② 災害時に支援者として協力できること (性別)

性別で見ると、全般に女性より男性のほうが回答が多くなっています。

	全体	高齢者などの安否確認	高齢者などの避難誘導	救急活動への協力	消防活動への協力	救援物資の配付など	復興のための活動	特にない	その他	無回答	
		人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
全体	2,662	1,286	822	525	290	1,107	499	600	89	150	
	100.0	48.3	30.9	19.7	10.9	41.6	18.7	22.5	3.3	5.6	
性別	男性	1,194	587	481	353	228	555	315	229	31	47
		100.0	49.2	40.3	29.6	19.1	46.5	26.4	19.2	2.6	3.9
	女性	1,444	689	330	164	57	538	177	368	56	102
	100.0	47.7	22.9	11.4	3.9	37.3	12.3	25.5	3.9	7.1	
	無回答	24	10	11	8	5	14	7	3	2	1
	100.0	41.7	45.8	33.3	20.8	58.3	29.2	12.5	8.3	4.2	

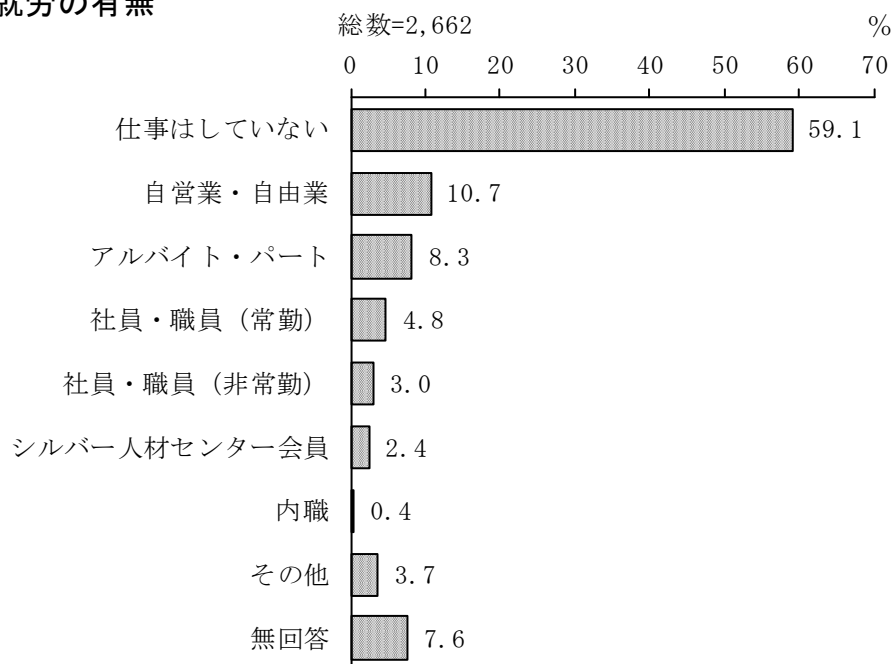
6 就労・社会活動について

(1) 就労の有無

問 37 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。仕事をしている方は、就労形態をお答えください。(一つに〇)

「仕事はしていない」が 59.1%で最も多く、次いで「自営業・自由業」が 10.7%、「アルバイト・パート」が 8.3%、「社員・職員（常勤）」が 4.8%となっています。

問 37 就労の有無

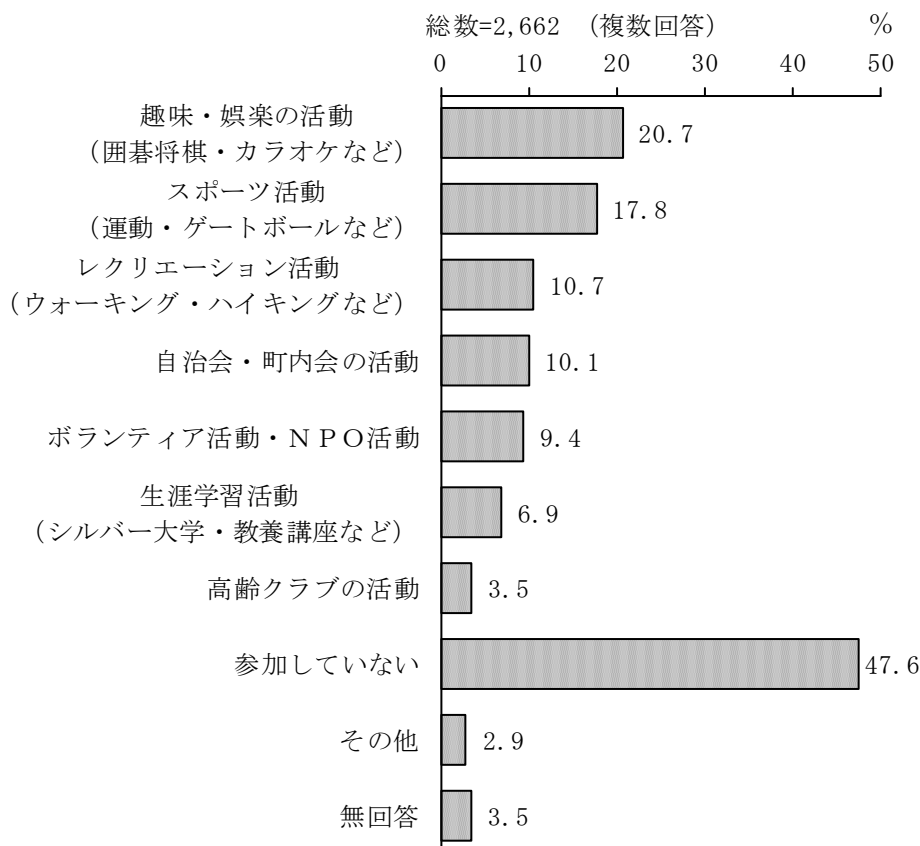


(2) 社会活動への参加状況

問 38 あなたは現在、次のような社会活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

「趣味・娯楽の活動(囲碁将棋・カラオケなど)」が20.7%で最も多く、次いで「スポーツ活動(運動・ゲートボールなど)」が17.8%、「レクリエーション活動(ウォーキング・ハイキングなど)」が10.7%、「自治会・町内会の活動」が10.1%となっています。

問 38① 社会活動への参加状況



問 38② 社会活動への参加状況（居住地域別）

居住地域別に見ると、中央東圏域、東圏域で「自治会・町内会の活動」が比較的少なくなっています。

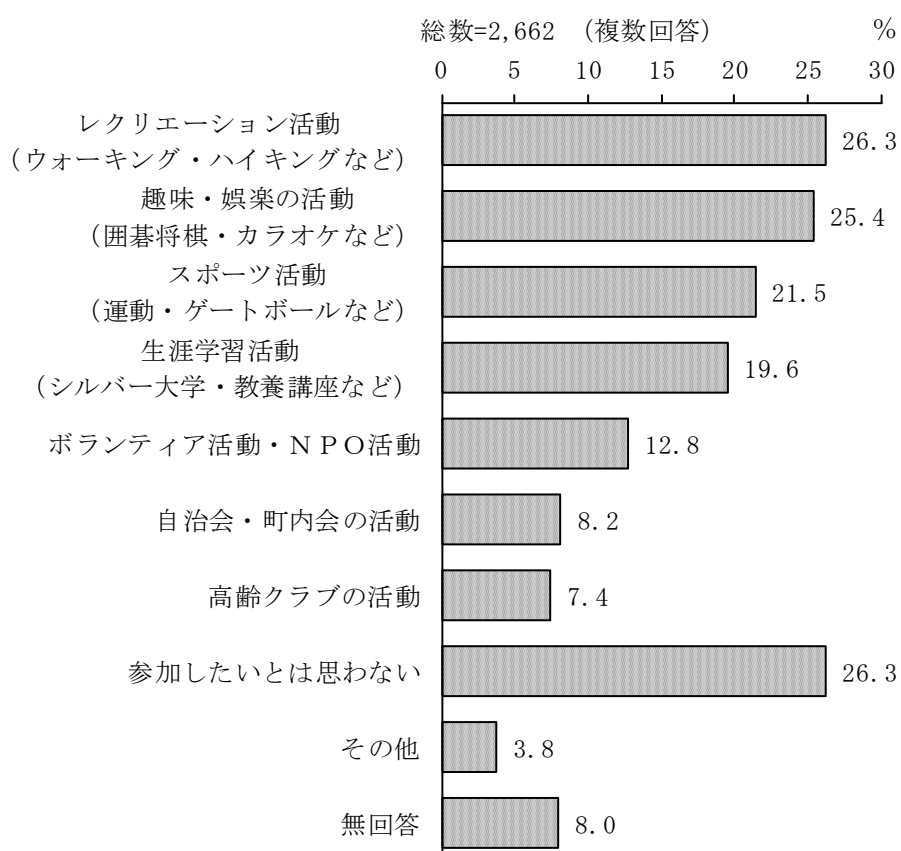
		全体	スポーツ活動（運動・ゲートボールなど）	レクリエーション活動（ウォーキング・ハイキングなど）	生涯学習活動（シルバード大学・教養講座など）	（囲碁将棋・カラオケなど） 趣味・娯楽の活動	自治会・町内会の活動	ボランティア活動・NPO活動	高齢クラブの活動	参加していない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比（%）												
全体		2,662 100.0	473 17.8	284 10.7	183 6.9	552 20.7	268 10.1	250 9.4	93 3.5	1,266 47.6	78 2.9	92 3.5
居住地域	西圏域	516 100.0	94 18.2	69 13.4	37 7.2	111 21.5	62 12.0	66 12.8	24 4.7	230 44.6	11 2.1	23 4.5
	中央西圏域	566 100.0	105 18.6	63 11.1	38 6.7	118 20.8	70 12.4	54 9.5	25 4.4	257 45.4	21 3.7	10 1.8
	中央圏域	148 100.0	25 16.9	23 15.5	10 6.8	34 23.0	22 14.9	11 7.4	8 5.4	58 39.2	6 4.1	8 5.4
	中央東圏域	700 100.0	127 18.1	59 8.4	49 7.0	147 21.0	52 7.4	51 7.3	19 2.7	350 50.0	17 2.4	26 3.7
	東圏域	690 100.0	114 16.5	65 9.4	45 6.5	136 19.7	60 8.7	61 8.8	15 2.2	352 51.0	23 3.3	22 3.2
	市外の施設やグループホーム等	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	無回答	41 100.0	8 19.5	5 12.2	4 9.8	6 14.6	2 4.9	7 17.1	2 4.9	18 43.9	-	3 7.3

(3) 社会活動への参加意向

問 39 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「レクリエーション活動（ウォーキング・ハイキングなど）」が 26.3%で最も多く、次いで「趣味・娯楽の活動（囲碁将棋・カラオケなど）」が 25.4%、「スポーツ活動（運動・ゲートボールなど）」が 21.5%、「生涯学習活動（シルバー大学・教養講座など）」が 19.6%となっています。

問 39① 社会活動への参加意向



問 39② 社会活動への参加意向（居住地域別）

居住地域別に見ると、中央東圏域、東圏域で「自治会・町内会の活動」が比較的少なくなっています。

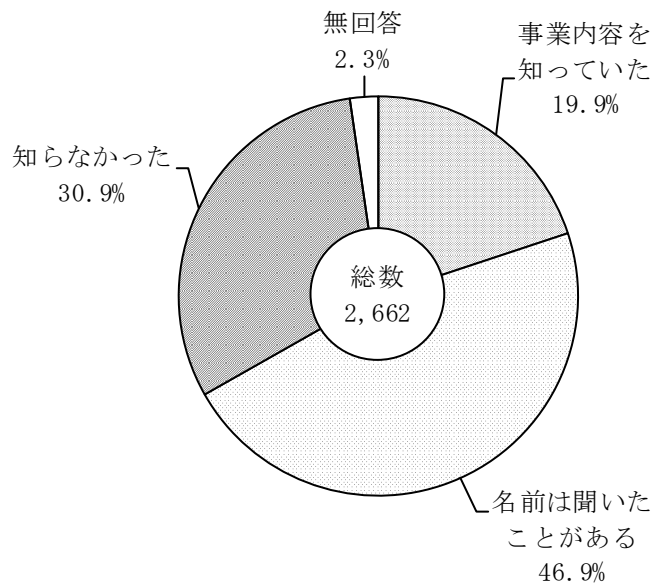
		全体	スポーツ活動（運動・ゲートボールなど）	レクリエーション活動（ウォーキング・ハイキングなど）	生涯学習活動（シルバード大学・教養講座など）	趣味・娯楽の活動（囲碁将棋・カラオケなど）	自治会・町内会の活動	ボランティア活動・NPO活動	高齢クラブの活動	参加したいとは思わない	その他	無回答	
上段：人数 下段：構成比（%）													
全体		2,662 100.0	571 21.5	699 26.3	521 19.6	677 25.4	217 8.2	341 12.8	198 7.4	699 26.3	100 3.8	212 8.0	
居住地域	西圏域	516 100.0	117 22.7	154 29.8	100 19.4	142 27.5	54 10.5	81 15.7	43 8.3	122 23.6	21 4.1	44 8.5	
	中央西圏域	566 100.0	122 21.6	148 26.1	116 20.5	144 25.4	63 11.1	77 13.6	37 6.5	141 24.9	20 3.5	41 7.2	
	中央圏域	148 100.0	28 18.9	39 26.4	26 17.6	44 29.7	18 12.2	13 8.8	14 9.5	27 18.2	7 4.7	20 13.5	
	中央東圏域	700 100.0	153 21.9	186 26.6	136 19.4	185 26.4	41 5.9	82 11.7	51 7.3	194 27.7	24 3.4	54 7.7	
	東圏域	690 100.0	142 20.6	163 23.6	137 19.9	150 21.7	38 5.5	81 11.7	47 6.8	208 30.1	27 3.9	46 6.7	
	市外の施設やグループホーム等	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	無回答	41 100.0	9 22.0	9 22.0	6 14.6	12 29.3	3 7.3	7 17.1	6 14.6	6 14.6	1 2.4	7 17.1	

(4) ボランティアセンターの認知度

問 40 あなたはこれまで、ボランティアセンターのことを知っていましたか。
(一つに○)

「名前は聞いたことがある」が 46.9%で最も多く、次いで「知らなかった」が 30.9%、「事業内容を知っていた」が 19.9%となっています。

問 40 ボランティアセンターの認知度



ボランティアセンターについて

小平市社会福祉協議会ボランティアセンターは、ボランティア活動・市民活動を推進・支援するための窓口です。ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなぐために、ボランティアに関する相談、情報提供、広報活動、講座・研修などを行っています。

7 介護保険制度について

介護保険制度について

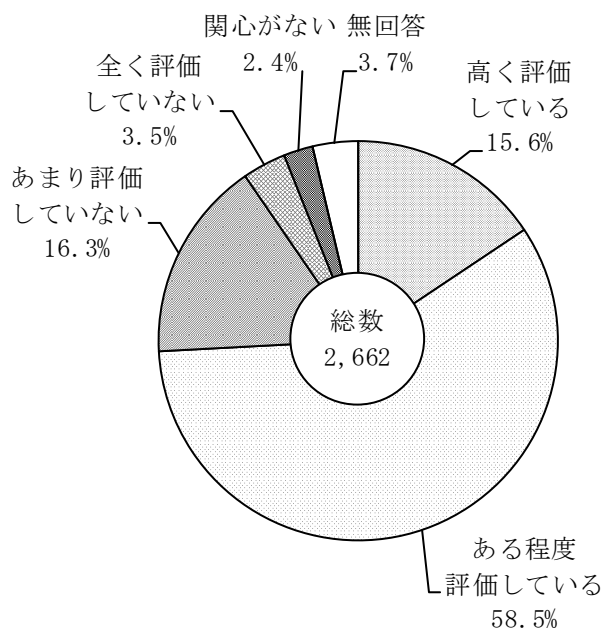
- 介護保険制度は、介護が必要になっても安心して暮らせるように、高齢者の介護を国民みんなで支える仕組みです。
- 介護や支援が必要になった方は、ホームヘルプやデイサービスなどの介護サービスを、要支援、要介護度に応じた限度額まで、1割の負担で利用することができます。
- 介護保険制度は、40歳以上の全ての方が支払う介護保険料と、国や自治体の公費負担によって支えられています。
- 65歳以上の方の介護保険料は、保険者である市町村ごとに条例で定められ、3年度を1期とする事業運営期間において介護や予防に要する費用を算定し、各被保険者の所得に応じて保険料を決定しています。

(1) 介護保険制度への評価

問 41 あなたは、介護保険制度をどのように評価していますか。(一つに○)

「ある程度評価している」が 58.5%で最も多く、次いで「あまり評価していない」が 16.3%、「高く評価している」が 15.6%となっています。

問 41 介護保険制度への評価

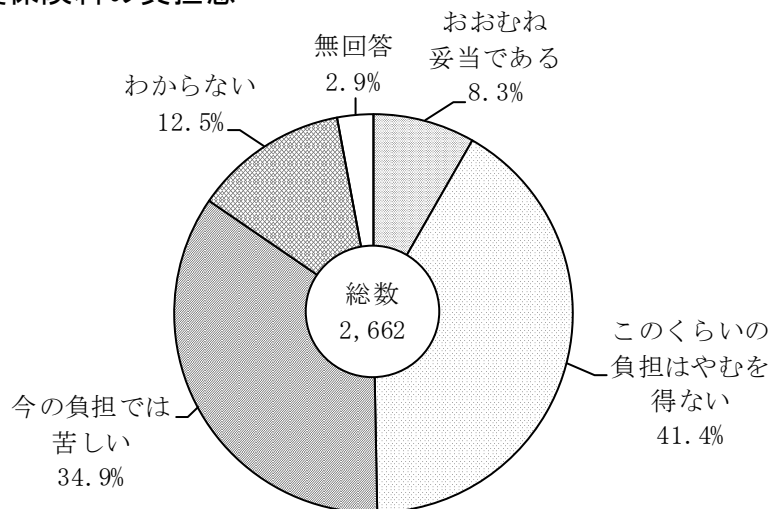


(2) 介護保険料の負担感

問 42 現在、所得段階に応じて介護保険料を納めていただいておりますが、あなたの保険料の金額について、どのように感じていますか。(一つに〇)

「このくらいの負担はやむを得ない」が 41.4%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 34.9%、「おおむね妥当である」が 8.3%となっています。

問 42① 介護保険料の負担感



問 42② 介護保険料の負担感 (1か月の収入別)

1か月の収入別に見ると、概ね収入が少ないほど「今の負担では苦しい」が多くなっています。

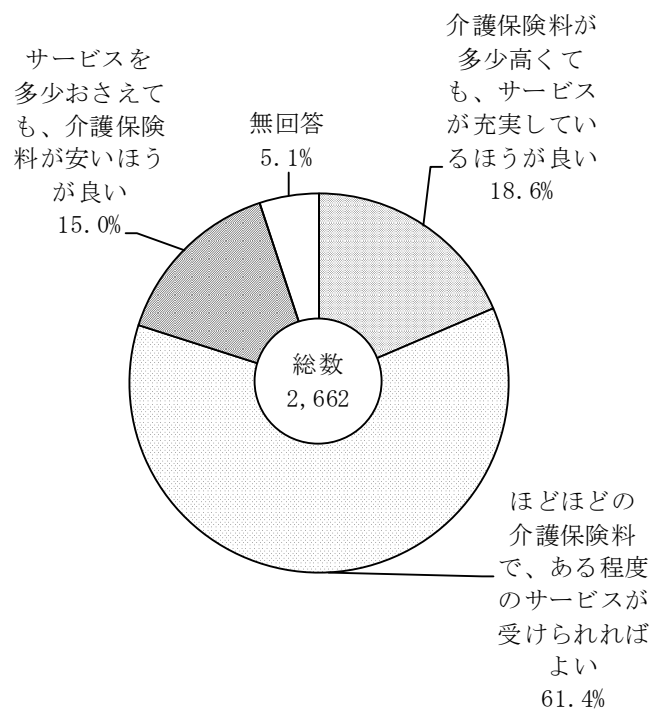
	上段：人数 下段：構成比 (%)	全体	おおむね妥当である	このくらいの負担はやむを得ない	今の負担では苦しい	わからない	無回答
全体	2,662 100.0	220 8.3	1,103 41.4	928 34.9	333 12.5	78 2.9	
1か月の収入	5万円未満	361 100.0	23 6.4	113 31.3	171 47.4	44 12.2	10 2.8
	5万円以上10万円未満	636 100.0	42 6.6	247 38.8	241 37.9	88 13.8	18 2.8
	10万円以上15万円未満	345 100.0	28 8.1	127 36.8	137 39.7	44 12.8	9 2.6
	15万円以上20万円未満	458 100.0	30 6.6	207 45.2	154 33.6	52 11.4	15 3.3
	20万円以上30万円未満	415 100.0	49 11.8	196 47.2	123 29.6	37 8.9	10 2.4
	30万円以上	341 100.0	43 12.6	176 51.6	67 19.6	48 14.1	7 2.1
	無回答	106 100.0	5 4.7	37 34.9	35 33.0	20 18.9	9 8.5

(3) 介護保険料とサービス水準の関係

問 43 介護保険料の金額は、介護保険サービスの整備が進むに伴って高くなる関係にあります。あなたは、保険料の金額と介護保険サービスの水準の関係について、どのように考えますか。(一つに〇)

「ほどほどの介護保険料で、ある程度のサービスが受けられればよい」が 61.4%で最も多く、次いで「介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い」が 18.6%、「サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 15.0%となっています。

問 43① 介護保険料とサービス水準の関係



問 43② 介護保険料とサービス水準の関係（1か月の収入別）

1か月の収入別に見ると、収入が少ないほど「サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が多くなっています。

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	介護保険料が多少高くても、サービスが充実しているほうが良い	ほどほどの介護保険料である程度のサービスが受けられればよい	サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い	無回答
全体		2,662 100.0	494 18.6	1,634 61.4	399 15.0	135 5.1
1か月の収入	5万円未満	361 100.0	55 15.2	203 56.2	77 21.3	26 7.2
	5万円以上10万円未満	636 100.0	102 16.0	399 62.7	109 17.1	26 4.1
	10万円以上15万円未満	345 100.0	56 16.2	216 62.6	58 16.8	15 4.3
	15万円以上20万円未満	458 100.0	90 19.7	283 61.8	58 12.7	27 5.9
	20万円以上30万円未満	415 100.0	82 19.8	267 64.3	47 11.3	19 4.6
	30万円以上	341 100.0	91 26.7	206 60.4	32 9.4	12 3.5
	無回答	106 100.0	18 17.0	60 56.6	18 17.0	10 9.4

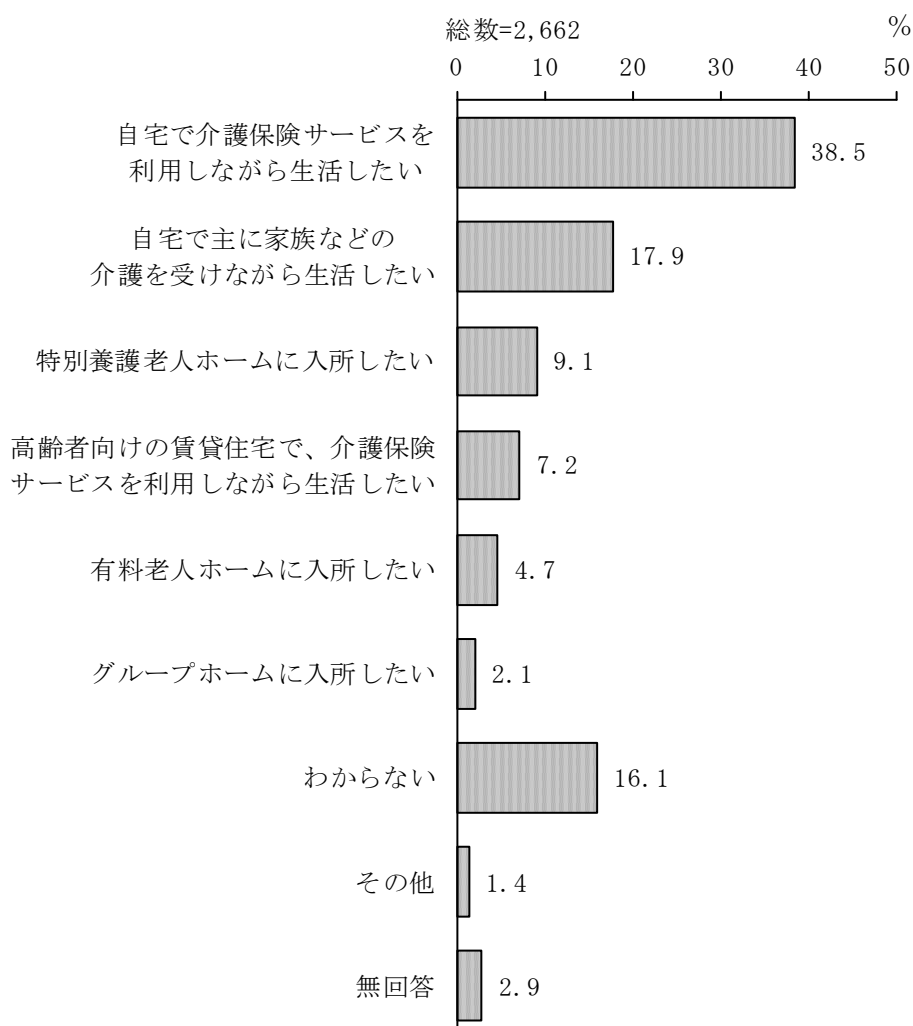
8 今後の生活について

(1) 介護が必要になったときの希望

問 44 あなたは、介護が必要になった場合、どのような介護のあり方を希望しますか。(一つに○)

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 38.5%で最も多く、次いで「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が 17.9%、「特別養護老人ホームに入所したい」が 9.1%、「高齢者向けの賃貸住宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 7.2%となっています。

問 44① 介護が必要になったときの希望



問 44② 介護が必要になったときの希望（性別）

性別で見ると、女性より男性のほうが「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が多く、男性より女性のほうが「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が多くなっています。

上段：人数 下段：構成比（％）		全体	自宅で主に家族などの 介護を受けながら生活したい	自宅で介護保険サービス を利用しながら生活したい	高齢者向けの賃貸住宅で、 介護保険サービスを利用 しながら生活したい	特別養護老人ホーム に入所したい	グループホームに入所 したい	有料老人ホームに入所 したい	わからない	その他	無回答
全体		2,662 100.0	476 17.9	1,026 38.5	192 7.2	242 9.1	56 2.1	125 4.7	429 16.1	38 1.4	78 2.9
性別	男性	1,194 100.0	298 25.0	402 33.7	84 7.0	113 9.5	12 1.0	60 5.0	181 15.2	13 1.1	31 2.6
	女性	1,444 100.0	176 12.2	613 42.5	106 7.3	128 8.9	44 3.0	64 4.4	245 17.0	23 1.6	45 3.1
	無回答	24 100.0	2 8.3	11 45.8	2 8.3	1 4.2	- -	1 4.2	3 12.5	2 8.3	2 8.3

◀ 在宅の介護保険サービス について ▶

・ほうもんけい訪問系サービス

ヘルパーなどが自宅を訪問して、身体介護や生活援助などを行うサービスです。
（ホームヘルプなど）

・つうしょけい通所系サービス

通所施設に通って、日常生活上の支援や生活機能訓練などを受けるサービスです。
（デイサービスなど）

・たんきにゆうしよ短期入所サービス(ショートステイ)

福祉施設等に短期間入所して、身体介護や機能訓練などを受けるサービスです。

◀ グループホーム について ▶

・にんちしょうこうれいしや認知症高齢者グループホーム

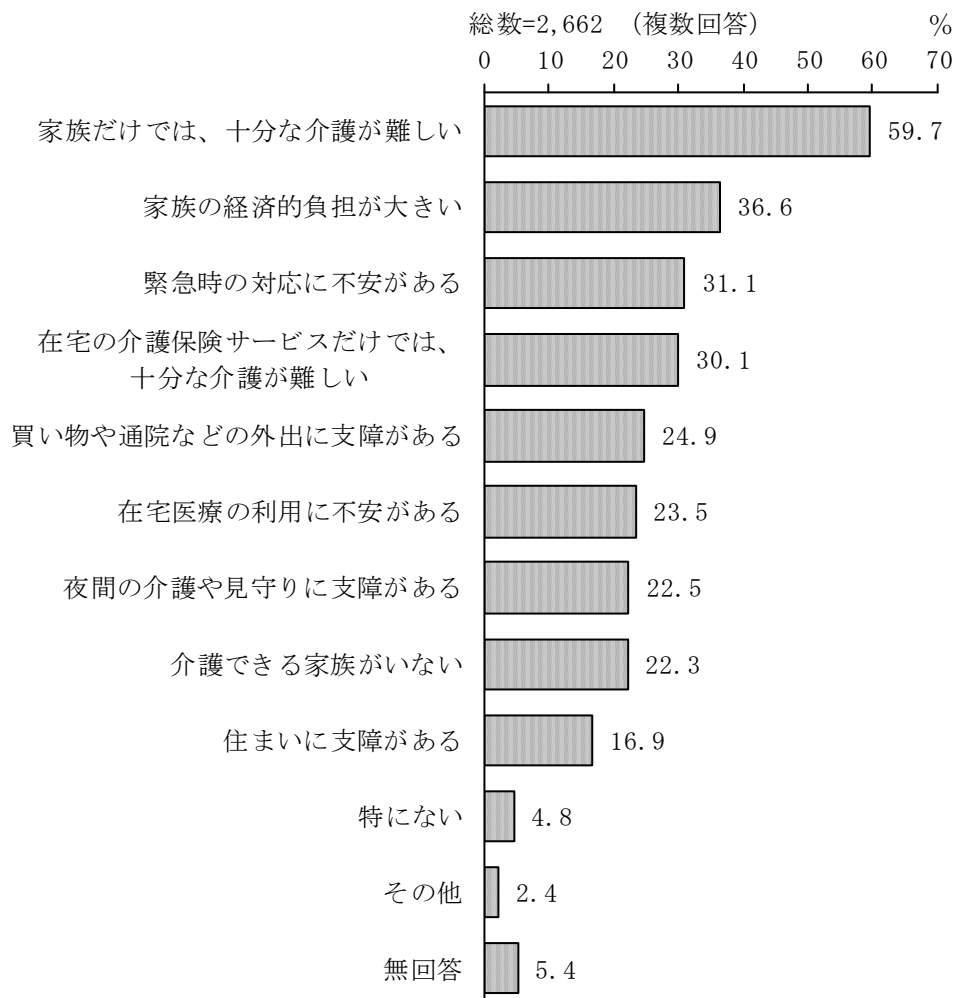
認知症の方が、職員から食事や入浴などの日常生活上の支援を受けながら、少人数のグループで生活する施設です。

(2) 自宅で暮らし続けるための課題

問 45 介護が必要になっても、あなたが自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。(〇はいくつでも)

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 59.7%で最も多く、次いで「家族の経済的負担が大きい」が 36.6%、「緊急時の対応に不安がある」が 31.1%、「在宅の介護保険サービスだけでは、十分な介護が難しい」が 30.1%となっています。

問 45 自宅で暮らし続けるための課題

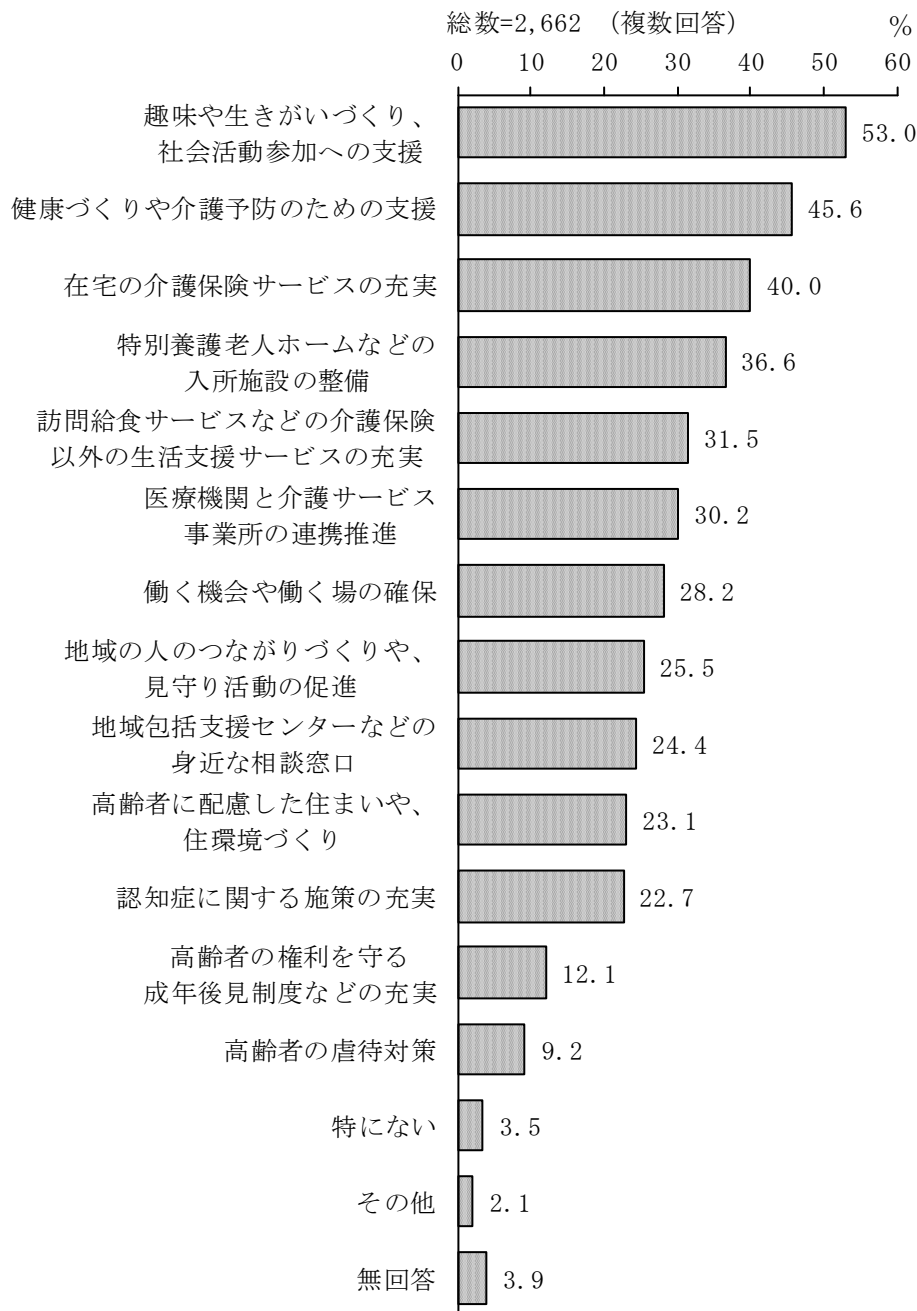


(3) 重要だと思う高齢者福祉の取り組み

問 46 あなたは、高齢者がいきいきと豊かに暮らすためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「趣味や生きがいつくり、社会活動参加への支援」が53.0%で最も多く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が45.6%、「在宅の介護保険サービスの充実」が40.0%、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が36.6%となっています。

問 46 重要だと思う高齢者福祉の取り組み



9 自由意見

問 47 小平市の高齢者施策について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見は 584 件でした。「行政」についての意見が 225 件と最も多く、次いで「生きがい・社会参加」が 111 件、「在宅サービス」が 107 件、「介護保険制度」が 97 件、「施設サービス」が 78 件となっています。

問 47 自由意見

	分 野	件
1	行政	225
2	生きがい・社会参加	111
3	在宅サービス	107
4	介護保険制度	97
5	施設サービス	78
6	生活環境	73
7	医療・健康	63
—	その他	174
回答者数		584

※ 複数の分野にまたがる意見もあるため、分野ごとの件数の合計は回答者数より多くなります。

◆主な回答の概要(内容は抜粋・要約してあります)

①行政 (225 件)

回 答 の 概 要	年 齢 ・ 性 別 回 答 者
小平市は高齢者にとって、住みやすい町ではないでしょうか。まだ元気な私は、高齢者と言われても実感がありませんが、いずれ、お世話になる時がくるかも知れません。その時は、よろしくお願い致します。	74 歳・女性 ご本人
高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉等の縦割行政を越えて、議員・行政担当者・住民みなで、どのような町づくりをしたいのか、そのためにどのような施策が必要あるのか、考え合い、話し合う機会が、設けられていたらよいと思います。	65 歳・女性 ご本人
ボランティアをやっていて、自助、共助、公助を耳にします。高齢者施策に関しても、市が何もかも引き受けることは市の財政の面からも、困難です。この面に於いてもこれからは共助主流になっていいと思えるところがあります。	68 歳・女性 ご本人
どのような施策があるのか具体的にわからない。市報“こだいら”をみるだけでは中々理解ができません。年寄りを前にしてわかり易く説明していただける機会、企画を持っていただきたいと思います。	69 歳・男性 ご本人

ひとり暮らしの高齢者について市ではどのような支援を考えているのでしょうか。民生委員さんは地域で何人位いるのでしょうか。	72歳・女性 ご本人
介護を必要としない高齢者、元気な高齢者を増やすための施策をお願いしたい。	65歳・女性 ご本人

②生きがい・社会参加（111件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
現在の所、健康ですが、体力保持のため心がけて運動しています。学校の体育館を利用して助かっています。高齢者に健康維持をすすめることは大切な施策であると思います。	66歳・女性 ご本人
高齢者でも元気であれば働くことができるので、シルバー人材センターだけではなく企業等もその人の能力を考えて活用できるのであれば、70才でも又それ以上の年齢でも雇用するように定年という枠をとり払って欲しい。	70歳・女性 ご本人
最近介護サービス施設が沢山できて多すぎる様に思います。税金の負担を減らす意味でも、要支援のまだ軽い人達は、もっと市の方でいろいろと運動や趣味の場を広げ、気軽に参加できる場を工夫できないかなと思っています。身体を動かし、人との交流を持てる場を。	66歳・女性 ご本人
高齢者が増加する時代、孤立死の発見などのために自治会の中で近隣の人とのコミュニケーションのとれる関係、困った時は遠くの親戚より近くの他人が助けてくれると思います。“近助”作りに市がお手伝いして欲しいです。	67歳・女性 ご本人
都心での生活の場だったので近所づきあいもなく、仕事もなくなった今、近所に友達もなく、レクリエーション活動、趣味の活動の場など、どこで調べれば良いのか知りたい。	70歳・女性 ご本人
最近は特に隣近所とのつきあいが希薄になってきているように感じます。うちの近くでも、お年寄りが具合が悪いとか、手助けが必要と思われる時にも、知らぬ顔をしているように見受けられました。ですので、見守りなどしてくれる方は、めったにいないのではないのでしょうか。	68歳・女性 ご本人

③在宅サービス（107件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
現住地からの地域包括センター及びデイサービス（通所センター）までがかなり遠い。近くに他地区の包括センターや、デイサービスセンターがあり、その所は利用範囲でないとは、あまりにも役所的発想を止めて欲しい。高齢居住者の利用便利性を考慮していただければ助かります。	80歳・女性 ご本人
今は、娘が近くに住んでいるので特別に不安はない。しかし今後のことを想像してみると、買い物、ゴミ出し、掃除、ふとん干し、洗濯等、身の回りのことに困るのではないのでしょうか。これらのことを支援するシステムができると良いと思います（安価で利用できる）。	66歳・女性 ご本人

在宅の介護サービスを希望しますが、相談にのってくれる所はどこでしょうか。介護サービスの受け方が良くわかりません。	69歳・男性 ご本人
認知症であっても生きがいを求めていることは、本人の言動でよくわかります。デイケアに通っていますが、とてもよくくださりありがとうございます。	87歳・男性 ご家族
介護予防教室への参加申込み人数の関係で、又ある程度の基準に満たないことで参加出来ないことがある。教室が少ないことも原因かも知れない。教室の増加を希望します。	79歳・女性 ご本人

④介護保険制度（97件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
高齢者に対していろいろなサービスが用意されていて本当に安心です。基本的には自分の事は自分で。そのために規則正しい生活を心がけています。そして最後に願わくば介護保険を使わないで旅立ちたいと思っています。	73歳・女性 ご本人
介護保険サービスの個人負担の割合が今後もっと増えると予想される。負担増になると受けたいサービスも受けられなくなる。国の制度の負担金を補助する制度を設けて欲しい。	67歳・男性 ご本人
介護保険料を完納しても将来希望する介護サービスが受けられるか非常に心配です。	80歳・男性 ご本人
介護保険料が高すぎて生活できない。年金だけでは生きてゆけない。これからの生活をどうしてよいかわからない。助けて欲しいです。	72歳・女性 ご本人
国の介護施策は悪化の一途をたどっている。要支援を介護から外すなど問題が多い。小平市は防波堤となって要支援の人々のサービスを守る必要があると思われる。	70歳・男性 ご本人
いずれは介護保険制度にも限界があるように思われる。各人が自主的に健康を維持し、極力介護保険に依存しないような施策が望まれます。	71歳・男性 ご本人

⑤施設サービス（78件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
家で最後まで暮らしたいと思っているが、介護が必要になった時、自分も家族も安心出来る施設がたくさんあるといいと思う。	65歳・女性 ご本人
特別養護老人ホームの充実を望みます。一人住まいなので最後は子供達にも迷惑をかけたくありませんので。	87歳・女性 ご本人
母親を介護して感じたことですが、特別養護老人ホームを申し込んで、入るのに時間がかかりすぎる。	66歳・男性 ご本人
特養老人ホーム・一般老人ホーム、もう少し老人の生き方を考える施策が必要。もちろん家族にとっては大変であるが、家族、ホームがキチンとした対応が出来るような、政策や指導を行政の方々にお願いしたい。	65歳・性別無回答 ご本人

母が昨年まで特別養護老人ホームにお世話になっていました。職員さん方の働きぶりには目をみはるものがありました。職員さん方は一般的に言われている給料等の待遇面で、もっと考えてあげられたら良いと思います。	67歳・女性 ご本人
---	---------------

⑥生活環境（73件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
玉川上水に近い現在の地に50年住み続けていますが、現在の住環境は大変気に入っています。最後までこの場所で暮らし続けることが何よりの願いです。	74歳・女性 ご本人
街づくりにも関係すると思いますが、高齢者施策について、緑にあふれた公園が必要であると思います。到る所に公園があるように、当市でも検討すべきであると思います。	72歳・男性 ご本人
高齢者向け賃貸住宅を増やしてほしいと思います。シルバーピア、申し込んでいますが、倍率も高く、回数も少なく感じます。	72歳・女性 ご本人
市内循環バスを良く見かけますが、路線バスが運行しているところ、つまり便利なところで客の取り合いのようなことになっています。むしろ不便なところほど運行してほしいと思います。	69歳・男性 ご本人

⑦医療・健康（63件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
現在は65才で健康面で特に問題は無くくらししているので、実際に身体的に不自由が発生した場合は不安がある。健康診断を市でしっかり面倒をみてもらいたい。定期診断も個人宛に日時等を知らせて欲しい。	65歳・男性 ご本人
病院に行くとすぐ薬を何種類も出すことが多いようです。薬による認知症が多いと聞きます。本当に薬が必要なのか、食べ物で改善できるのか、見極められるお医者様が増えることで、医療費も少なくてすむので、財政面でも良くなりますよね。薬の問題、大きいと思います。	65歳・女性 ご本人
健康診断（毎年の）で、認知症状がチェック（専門家が）できる体制を確立してもらいたい。現在健常であると思っても、いつ発症するか不安である。すべての人が可能性があると考えられているならば、認知症の診断を定期健康診断と併行してやってもらいたい。	69歳・男性 ご本人

⑧その他（174件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
65歳を基準に身体障害者はやむなく経済的負担の大きい介護保険に優先順位が変わることは大きな矛盾が発生すること。障害年金制度を受けていた者が65歳を境に介護保険へ移行することは障害者の見捨て制度、特に重度障害者に対しては制度を見直すべきと思う。	65歳・女性 ご本人

<p>とにもかくにも高齢者が住み良いまちづくりを希望します。特に災害時が心配です。腰から来る足の痛みで避難する事が出来ないと思います。なので高齢者にあくまでも「やさしい」まちづくりをおねがいします。</p>	<p>78歳・女性 ご本人</p>
<p>80歳を過ぎてる高齢者には、月に一回か一年に2度位でも、電話で安否を確認がいるのでは。毎日を気をつけて元気になっているものは何年も介護保険を支払うのみで放っておくのでしょうか。小さな心使いが必要ではと思ってます。</p>	<p>81歳・女性 ご本人</p>
<p>児童館を老人館として併用、老人が気軽に行けるようにし、子供と一緒に遊ぶ、自由に暮など出来る。</p>	<p>68歳・男性 ご本人</p>